

第2章 高齡者一般調査

第2章 高齢者一般調査

1 対象者についての基本的事項

(1) 記入者

ア 記入者

表 1-1 記入者

(上段：件 下段：%)

調査数 (N)	宛名の本人	家族	その他	無回答
2474	2324	81	8	61
100.0	93.9	3.3	0.3	2.5

アンケートの回答者は、「宛名の本人」93.9%に対し、「家族」3.3%、「その他」0.3%となっている。

イ 本人が回答できない理由

表 1-2 本人が回答できない理由

(上段：件 下段：%)

調査数 (N)	病院に入院中	老人ホームなど(介護保険施設に特別養護)	病気やけが	物忘れがあり、意志疎通が時々難しい	認知症のため意思疎通が難しい	障害(身体障害、知的障害など)	別居・転居	答えたくない	その他	無回答
89	14	0	5	17	1	7	2	10	22	11
100.0	16.1	0.3	5.5	18.7	0.9	7.8	2.1	11.4	25.3	12.0

本人が回答できない理由としては、「物忘れがあり、意志疎通が時々難しい」が18.7%、「病院に入院中」が16.1%となっている。

(2) 年齢別・性別構成

図 1-1 年齢構成

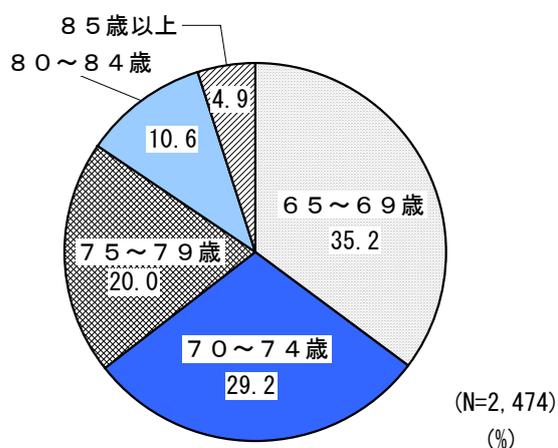
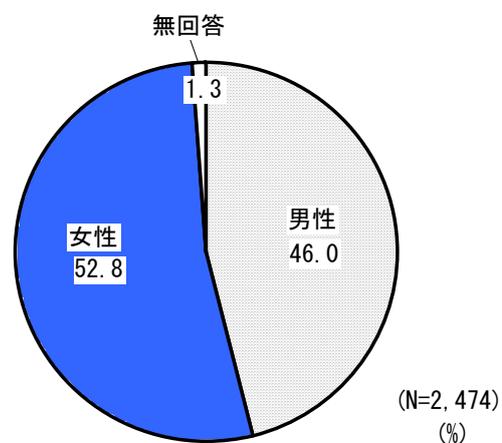


図 1-2 性別構成



調査対象者の年齢構成は、「65～69歳」が35.2%と最も多く、「85歳以上」が4.9%と最も少なくなっている。

性別構成については、男性46.0%、女性52.8%と女性の方が多くなっている。

(3) 居住地域

ア 居住地区

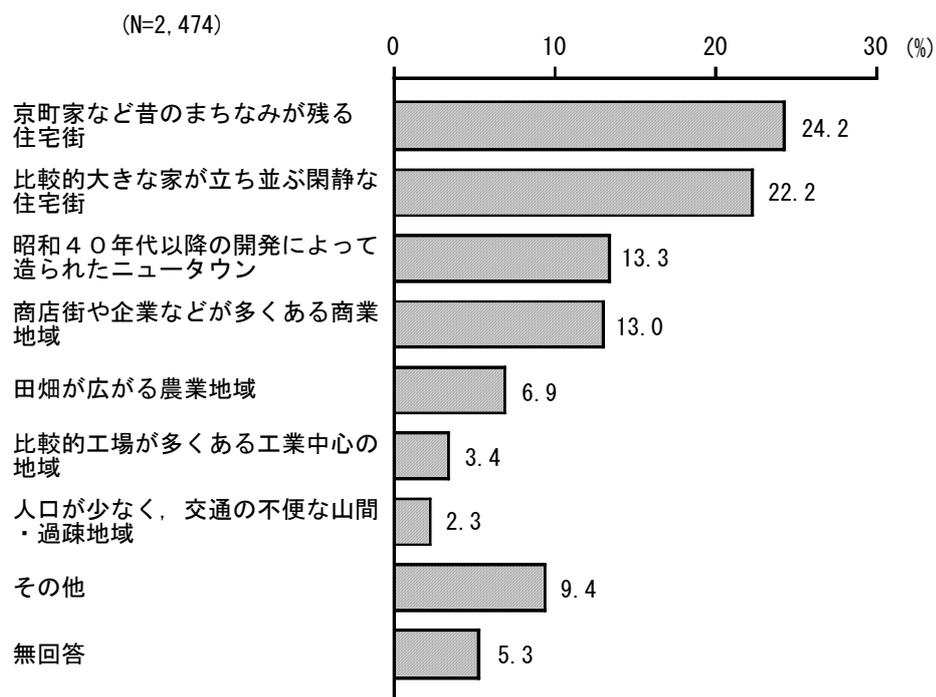
表 1-3 居住地区

調査数 (N)	(上段：件 下段：%)														
	北区	上京区	左京区	中京区	東山区	山科区	下京区	南区	右京区	西京区	洛西支所	伏見区	深草支所	醍醐支所	無回答
2474	243	158	307	167	103	229	145	147	294	206	12	388	37	32	5
100.0	9.8	6.4	12.4	6.8	4.2	9.3	5.9	6.0	11.9	8.3	0.5	15.7	1.5	1.3	0.2

居住地区をみると、「伏見区」が15.7%と最も多く、次いで「左京区」「右京区」となっている。

イ 地域の特性

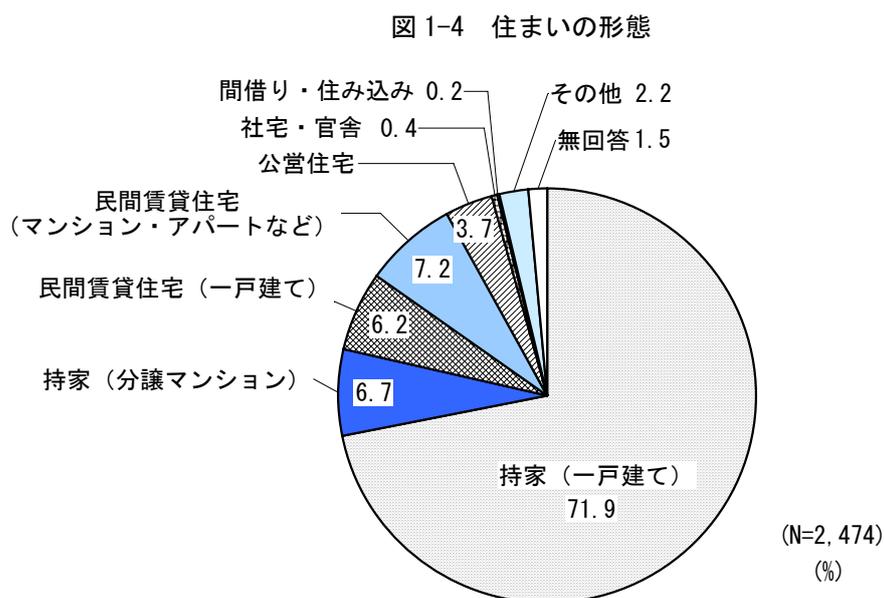
図 1-3 地域の特性



住まいの地域については、「京町家など昔のまちなみが残る住宅街」が24.2%と最も多く、次いで「比較的大きな家が立ち並ぶ閑静な住宅街」(22.2%)、「昭和40年代以降の開発によって造られたニュータウン」(13.3%)、「商店街や企業などがある商業地域」(13.0%)の順となっている。

(4) 住居形態

ア 住まいの形態



住まいの形態をみると、「持家（一戸建て）」が71.9%と圧倒的に多く、そのほかは「民間賃貸住宅（マンション・アパートなど）」が7.2%、「持家（分譲マンション）」が6.7%などとなっている。

表 1-4 居住地区別 住まいの形態

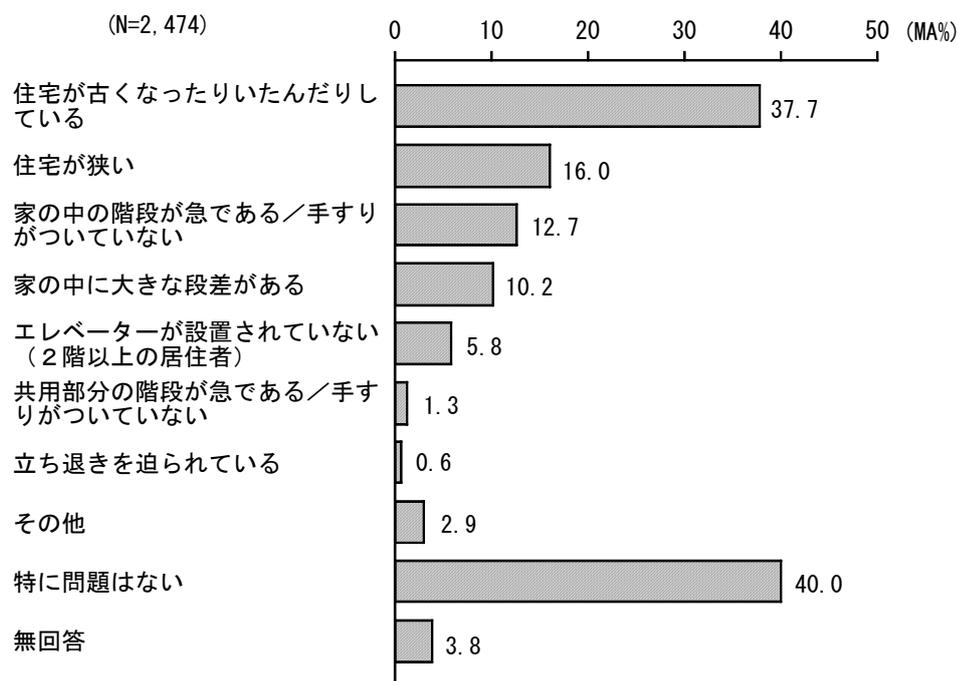
(%)

	調査数 (N)	持家 (一戸建て)	持家 (分譲マンション)	民間賃貸住宅 (一戸建て)	民間賃貸住宅 (マンション・アパートなど)	公営住宅	社宅・官舎	間借り・住み込み	その他	無回答
北区	243	82.8	1.7	5.8	6.5	0.5	0.6	0.8	0.3	1.0
上京区	158	78.1	6.6	5.1	7.0	1.2	-	0.2	0.5	1.3
左京区	307	78.2	7.8	5.2	4.7	1.7	0.1	0.6	0.7	0.9
中京区	167	70.6	10.6	9.2	6.1	1.5	-	-	1.2	0.9
東山区	103	71.7	3.2	9.7	9.4	-	-	-	5.3	0.8
山科区	229	70.8	7.8	8.2	5.4	4.2	0.8	0.2	1.8	0.6
下京区	145	72.0	3.9	11.4	7.2	2.5	0.6	-	2.2	0.2
南区	147	64.4	9.8	5.7	13.4	1.4	0.6	-	1.3	3.4
右京区	294	71.8	5.1	6.3	8.4	1.2	1.1	0.1	3.0	3.1
西京区	206	75.2	3.7	4.7	6.4	6.0	-	-	3.1	0.9
洛西支所	12	68.9	15.5	-	-	15.6	-	-	-	-
伏見区	388	61.2	10.7	4.3	6.7	10.1	-	-	4.4	2.6
深草支所	37	66.4	7.8	4.6	17.3	-	-	-	3.9	-
醍醐支所	32	67.9	-	-	9.1	17.2	5.7	-	-	-
無回答	5	34.0	-	-	-	47.4	-	-	18.6	-
合計	2474	71.9	6.7	6.2	7.2	3.7	0.4	0.2	2.2	1.5

居住地区別にみると、「持家（一戸建て）」の割合は、北区で82.8%と最も高く、次いで左京区、上京区などで高くなっている。「民間賃貸住宅（マンション・アパートなど）」については深草支所、南区で10%強みられる。

イ 住まいの状況

図 1-5 住まいの状況



住まいの状況については、「住宅が古くなったりいたんだりしている」が37.7%と最も多く、次いで「住宅が狭い」(16.0%)、「家の中の階段が急である／手すりがついていない」(12.7%)となっている。

表 1-5 住まいの形態別 住まいの状況

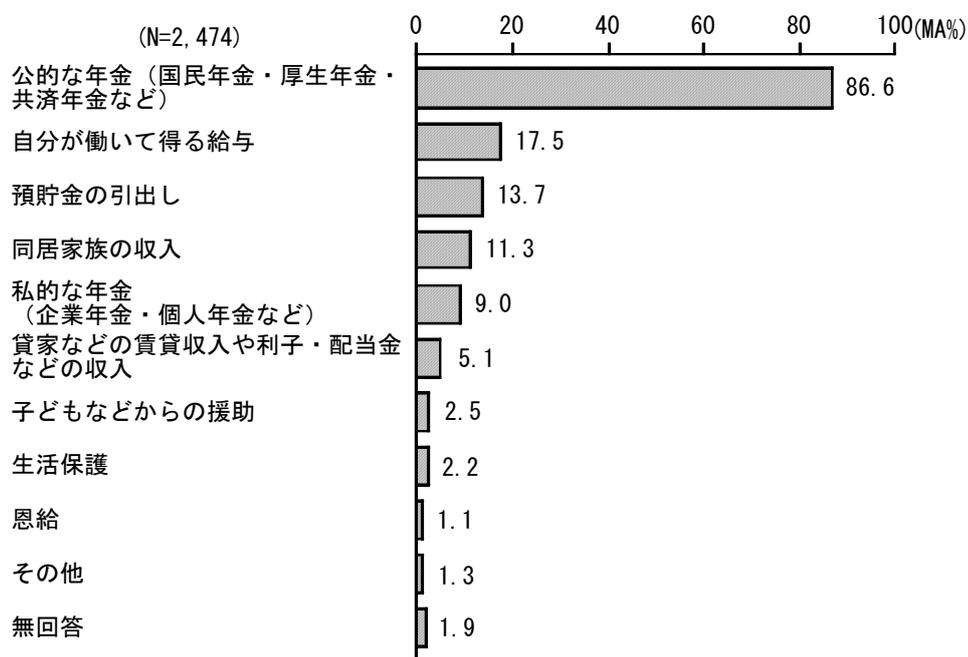
	調査数	住宅が古くなったりいたんだりしている	住宅が狭い	家の中の階段が急である／手すりがついていない	家の中に大きな段差がある	エレベーターが設置されていない (2階以上の居住者)	共用部分の階段が急である／手すりがついていない	立ち退きを迫られている	その他	特に問題はない	無回答
持家 (一戸建て)	1778	36.9	14.2	14.6	11.4	5.1	0.9	0.1	2.6	43.2	2.1
持家 (分譲マンション)	166	14.3	9.6	2.5	5.1	5.9	4.2	-	1.8	61.3	6.6
民間賃貸住宅 (一戸建て)	154	68.2	23.2	19.3	11.9	1.1	0.6	5.3	3.4	19.1	1.1
民間賃貸住宅 (マンション・アパートなど)	177	47.4	27.7	4.5	5.1	8.9	3.3	1.6	2.7	26.5	2.9
公営住宅	91	32.3	19.0	-	5.0	24.8	2.1	-	1.6	29.6	4.9
社宅・官舎	10	66.3	35.0	17.5	8.8	17.5	-	-	-	17.5	16.2
間借り・住み込み	5	34.9	54.2	5.4	5.4	-	-	37.8	-	-	16.4
その他	55	37.3	30.0	19.0	12.5	4.8	-	-	21.9	26.0	3.8
無回答	37	12.6	9.8	-	0.7	-	-	-	-	1.4	80.8
合計	2474	37.7	16.0	12.7	10.2	5.8	1.3	0.6	2.9	40.0	3.8

住まいの形態別にみると、持家 (一戸建て) では、「住宅が古くなったりいたんだりしている」が36.9%と最も多く、このほか、「家の中の階段が急である／手すりがついていない」「住宅が狭い」などの割合も相対的に高くなっている。民間賃貸住宅 (一戸建て) や民間賃貸住宅 (マンション・アパートなど)、社宅・官舎でも、「住宅が古くなったりいたんだりしている」が他の住宅形態と比べて高い。また、公営住宅では、「エレベーターが設置されていない (2階以上にお住まいの方)」が20%強みられる。

(5) 収入

ア 主な収入源

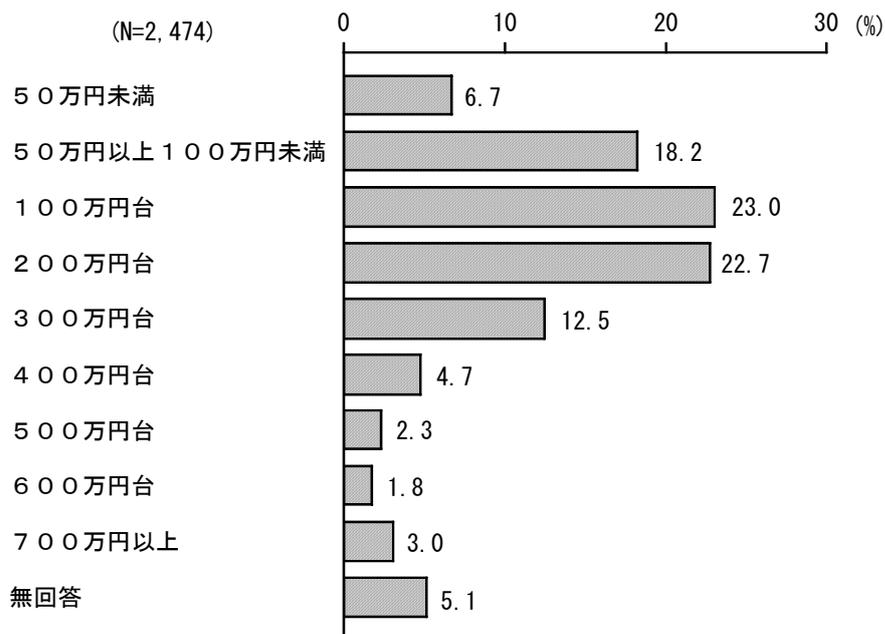
図 1-6 主な収入源



主な収入源については、「公的な年金（国民年金・厚生年金・共済年金など）」が86.6%と圧倒的に多く、次いで「自分が働いて得る給与」が17.5%、「預貯金の引出し」が13.7%となっている。

イ 本人の年収

図 1-7 本人の年収

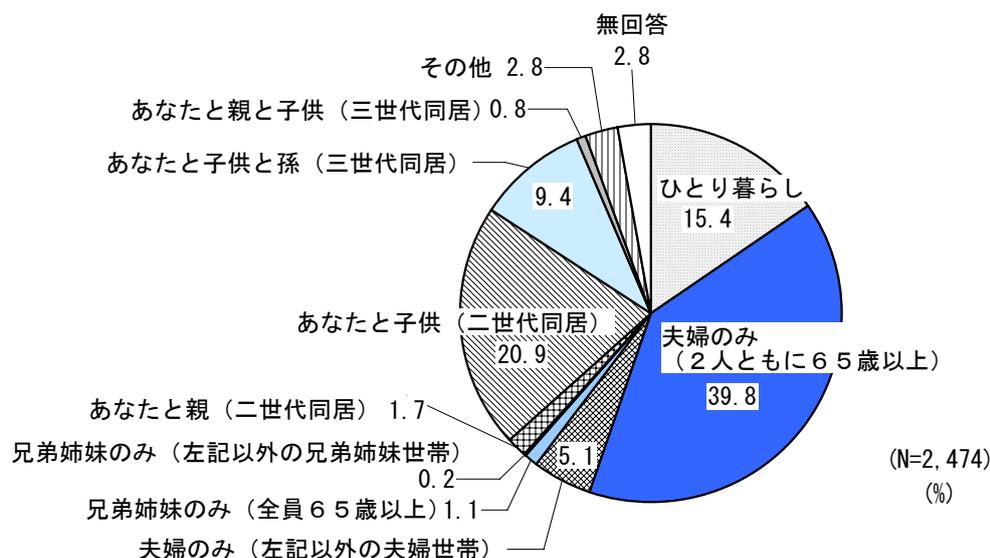


調査対象者本人の年収は、「100万円台」が23.0%と最も多く、次いで「200万円台」が22.7%となっている。

(6) 世帯の状況

ア 世帯構成

図 1-8 世帯構成



世帯構成は「夫婦のみ (2人とも65歳以上)」が39.8%と最も多く、次いで「あなたと子供 (二世世代同居)」(20.9%)、「ひとり暮らし」(15.4%)、「あなたと子供と孫 (三世世代同居)」(9.4%) となっている。

表 1-6 性・年齢別 世帯構成

	調査数 (N)	世帯構成 (%)										
		ひとり暮らし	夫婦のみ (2人ともに65歳以上)	夫婦のみ (左記以外の夫婦世帯)	兄弟姉妹のみ (全員65歳以上)	兄弟姉妹のみ (左記以外の兄弟姉妹世帯)	あなたと親 (二世世代同居)	あなたと子供 (二世世代同居)	あなたと子供と孫 (三世世代同居)	あなたと親と子供 (三世世代同居)	その他	無回答
男性 (全体)	1137	8.2	46.0	9.3	0.6	0.1	2.0	19.3	7.6	1.2	2.8	3.0
男性 65~69歳	405	8.1	24.0	20.8	0.5	-	4.1	27.1	5.4	2.7	4.5	2.7
70~74歳	333	6.0	58.4	5.2	0.9	-	1.7	15.9	5.6	0.4	1.7	4.3
75~79歳	232	9.6	62.0	0.8	-	0.4	-	12.4	12.0	0.4	1.2	1.2
80~84歳	121	9.3	56.8	0.9	1.3	-	0.9	15.0	9.3	-	3.1	3.5
85歳以上	47	14.0	41.3	2.2	-	-	-	21.8	14.5	1.1	1.7	3.4
女性 (全体)	1306	21.7	34.2	1.5	1.6	0.3	1.5	22.3	11.1	0.3	2.9	2.6
女性 65~69歳	466	15.7	38.6	2.0	1.6	0.4	2.4	24.4	10.2	-	2.4	2.4
70~74歳	373	20.3	42.1	1.9	1.1	-	1.1	18.8	9.2	1.1	2.7	1.5
75~79歳	258	27.3	32.0	0.7	2.2	0.4	0.4	19.4	10.8	-	3.6	3.2
80~84歳	136	32.4	17.2	0.8	2.3	0.8	1.6	22.7	16.4	-	3.5	2.3
85歳以上	73	26.5	4.7	0.7	1.1	0.4	1.4	36.2	17.6	0.4	3.9	7.2
無回答	31	14.3	49.3	-	-	-	1.7	17.4	7.2	4.6	-	5.5
合計	2474	15.4	39.8	5.1	1.1	0.2	1.7	20.9	9.4	0.8	2.8	2.8

世帯構成を性別にみると、「ひとり暮らし」は男性 (8.2%) より女性 (21.7%) のほうが13.5ポイント高く、「夫婦のみ (2人ともに65歳以上)」は女性 (34.2%) より男性 (46.0%) のほうが11.8ポイント高くなっている。

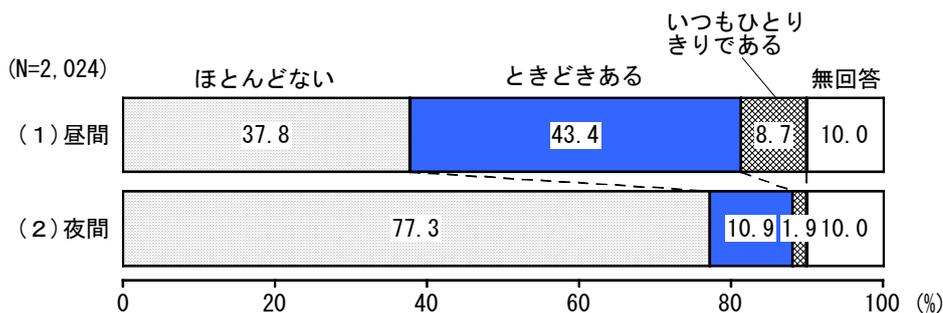
表 1-7 居住地区別 世帯構成

	調査数	ひとり暮らし	夫婦のみ(2人ともに65歳以上)	夫婦のみ(左記以外の夫婦世帯)	兄弟姉妹のみ(全員65歳以上)	兄弟姉妹のみ(左記以外の兄弟姉妹世帯)	あなたと親(二世代同居)	あなたと子供(二世代同居)	あなたと子供と孫(三世代同居)	あなたと親と子供(三世代同居)	その他	無回答
北区	243	8.5	42.4	4.3	0.4	0.1	2.3	26.4	10.4	2.1	1.7	1.4
上京区	158	19.7	34.5	5.2	0.2	0.3	0.3	26.0	8.2	1.2	0.6	3.7
左京区	307	16.4	36.8	3.7	1.5	0.3	2.5	20.9	10.1	2.0	3.7	2.2
中京区	167	18.7	41.1	6.2	2.8	-	1.1	19.2	6.0	-	3.5	1.5
東山区	103	17.6	45.5	3.8	2.7	-	1.8	16.2	6.2	-	4.6	1.7
山科区	229	15.0	41.9	5.0	2.3	0.2	1.2	18.3	11.0	-	4.1	1.1
下京区	145	12.2	38.9	6.9	3.0	-	-	19.3	13.0	-	4.3	2.5
南区	147	14.3	41.4	3.1	0.6	0.6	1.3	26.3	3.9	-	1.5	6.8
右京区	294	14.8	39.3	3.1	-	-	1.3	22.7	12.4	1.2	2.1	3.1
西京区	206	10.4	41.6	4.9	0.9	-	3.6	19.5	10.8	1.5	3.6	3.2
洛西支所	12	23.3	23.4	-	-	-	30.9	2.2	15.6	-	-	4.5
伏見区	388	19.3	38.6	7.8	0.5	0.5	1.6	17.1	8.7	-	2.4	3.6
深草支所	37	17.4	46.9	5.0	-	-	-	19.7	2.9	-	5.0	3.2
醍醐支所	32	21.8	35.7	10.2	-	-	-	28.2	4.1	-	-	-
無回答	5	-	47.4	-	-	-	-	-	28.7	-	-	23.9
合計	2474	15.4	39.8	5.1	1.1	0.2	1.7	20.9	9.4	0.8	2.8	2.8

世帯構成を居住地区別にみると、「ひとり暮らし」は洛西支所が23.3%で最も高く、そのほか、醍醐支所で20%台となっている。「夫婦のみ(2人ともに65歳以上)」は深草支所が46.9%で最も高く、洛西支所以外の地区で30%以上となっている。

イ 昼間・夜間独居の状況

図 1-9 昼間・夜間独居の状況



家族と同居している高齢者のうち、昼間、ひとりきりになることがある人は52.1%を占め、「いつもひとりきりである」は8.7%となっている。

同様に、夜間、ひとりきりになることがある人は12.8%であり、「いつもひとりきりである」は1.9%となっている。

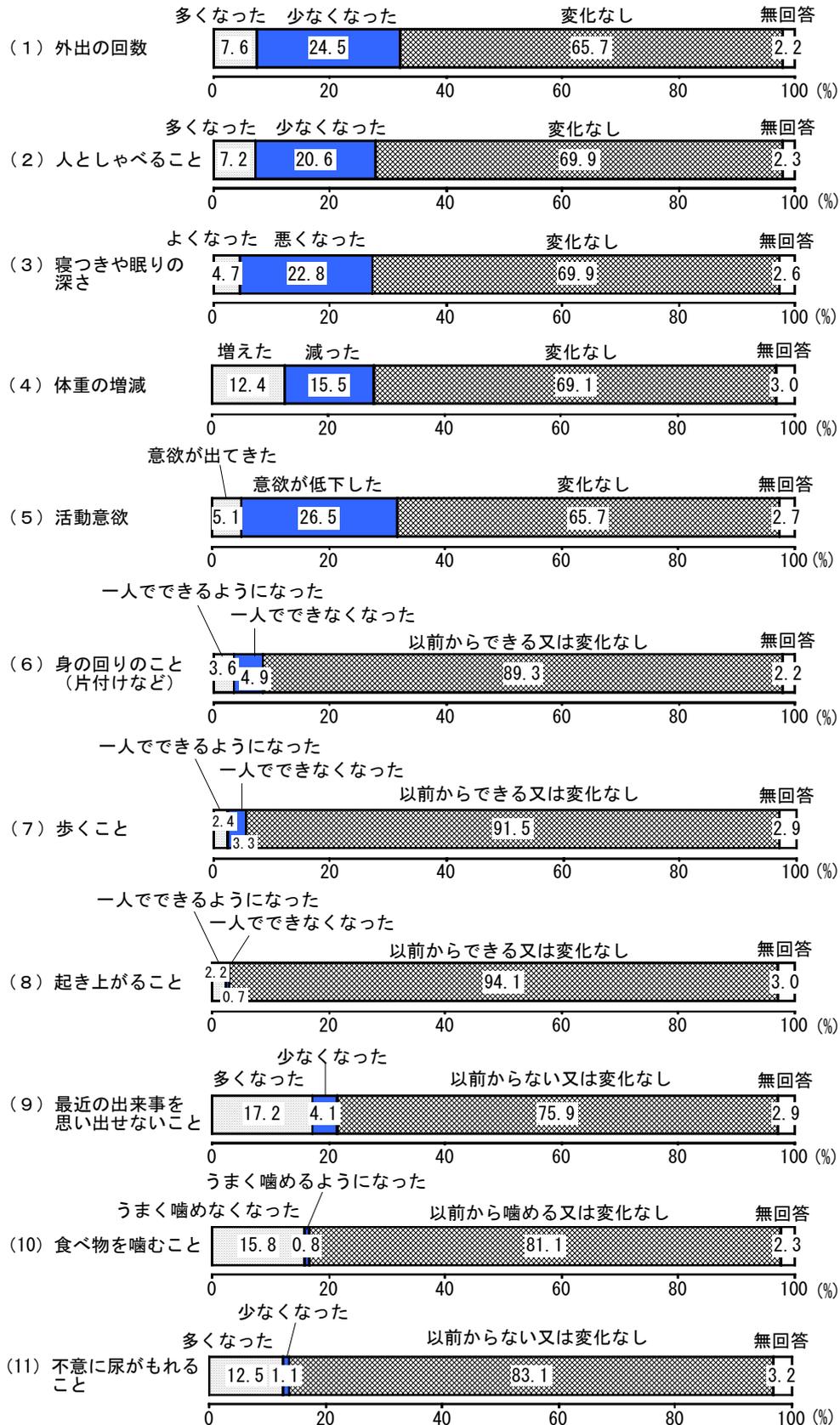
2 身体・生活の状況について

(1) 最近半年間の心身の変化

ア 最近半年間の心身の変化

図 1-10 最近半年間の心身の変化

(N=2,474)



この半年間に心身の状態に変化が見られたかたずねたところ、いずれの項目でも「変化なし」が過半数を占めているが、『(1) 外出の回数』をはじめとして、『(2) 人としゃべること』『(3) 寝つきや眠りの深さ』『(5) 活動意欲』の各項目では、悪化もしくは低下を表す回答が20%を超えている。

表 1-8 性・年齢別 最近半年間の心身の変化①

	調査数 (N)	(1) 外出の回数			(2) 人としゃべること				(3) 寝つきや眠りの深さ (%)				
		多くなった	少なくなった	変化なし	無回答	多くなった	少なくなった	変化なし	無回答	よくなった	悪くなった	変化なし	無回答
男性 (全体)	1137	6.1	23.7	67.9	2.2	4.8	22.7	70.2	2.3	4.5	22.3	70.6	2.5
男性 65～69歳	405	7.2	16.3	75.6	0.9	4.1	19.0	76.0	0.9	5.0	20.8	72.9	1.4
70～74歳	333	5.6	22.7	69.1	2.6	4.3	19.7	73.4	2.6	5.6	22.7	68.7	3.0
75～79歳	232	6.8	26.8	63.6	2.8	7.2	27.2	62.0	3.6	3.2	25.2	68.4	3.2
80～84歳	121	4.8	38.3	53.3	3.5	5.7	29.5	61.7	3.1	3.5	22.5	70.9	3.1
85歳以上	47	0.6	41.9	52.5	5.0	-	35.2	60.3	4.5	2.8	17.9	76.0	3.4
女性 (全体)	1306	8.9	25.0	64.0	2.1	9.3	18.8	69.6	2.3	4.7	23.7	69.1	2.5
女性 65～69歳	466	11.0	15.7	71.7	1.6	10.6	11.8	76.0	1.6	5.5	23.6	68.5	2.4
70～74歳	373	10.0	24.1	64.8	1.1	11.1	21.5	66.3	1.1	3.1	24.9	70.9	1.1
75～79歳	258	8.3	30.2	58.3	3.2	8.3	20.5	68.3	2.9	5.8	23.4	67.6	3.2
80～84歳	136	3.9	37.1	56.3	2.7	5.5	27.0	63.7	3.9	5.1	23.0	68.8	3.1
85歳以上	73	2.2	47.3	45.9	4.7	2.2	29.0	61.6	7.2	3.9	19.7	69.2	7.2
無回答	31	7.2	29.7	56.9	6.3	8.0	18.6	68.0	5.4	6.0	7.1	76.7	10.1
合計	2474	7.6	24.5	65.7	2.2	7.2	20.6	69.9	2.3	4.7	22.8	69.9	2.6

	調査数 (N)	(4) 体重の増減				(5) 活動意欲				(6) 身の回りのこと (片付けなど) (%)			
		増えた	減った	変化なし	無回答	意欲が出てきた	意欲が低下した	変化なし	無回答	う一人になつたよ	な一人のできなく	又は以前からできる	無回答
男性 (全体)	1137	13.7	15.0	68.2	3.1	3.9	27.2	66.5	2.4	3.9	5.6	88.7	1.8
男性 65～69歳	405	16.3	12.2	68.8	2.7	3.6	23.5	71.9	0.9	3.6	3.6	91.9	0.9
70～74歳	333	13.7	10.7	73.0	2.6	3.9	23.2	70.0	3.0	3.9	4.7	89.3	2.1
75～79歳	232	12.8	17.2	65.6	4.4	5.2	32.4	59.2	3.2	4.0	8.4	85.6	2.0
80～84歳	121	10.1	25.6	60.8	3.5	3.5	37.0	55.9	3.5	4.8	6.2	86.3	2.6
85歳以上	47	4.5	31.8	60.3	3.4	1.1	35.8	58.1	5.0	4.5	14.5	77.7	3.4
女性 (全体)	1306	11.4	15.9	70.1	2.7	6.1	26.1	65.1	2.7	3.3	4.3	89.9	2.5
女性 65～69歳	466	13.0	11.4	73.6	2.0	6.3	19.3	72.4	2.0	2.8	2.4	92.9	2.0
70～74歳	373	13.8	12.6	71.3	2.3	7.7	28.4	62.1	1.9	3.8	3.1	91.6	1.5
75～79歳	258	10.1	20.9	66.2	2.9	6.1	27.3	62.6	4.0	4.0	5.8	86.3	4.0
80～84歳	136	6.3	24.2	66.4	3.1	3.5	37.5	56.6	2.3	2.0	7.0	88.3	2.7
85歳以上	73	3.6	27.2	62.0	7.2	1.8	31.5	59.1	7.5	3.9	13.3	78.1	4.7
無回答	31	6.3	19.9	65.0	8.9	9.3	22.0	57.7	11.0	5.5	-	87.3	7.2
合計	2474	12.4	15.5	69.1	3.0	5.1	26.5	65.7	2.7	3.6	4.9	89.3	2.2

表 1-8 性・年齢別 最近半年間の心身の変化②

(7) 歩くこと

(8) 起き上がること

(9) 最近の出来事を思い出せないこと

	調査数 (N)	(7) 歩くこと				(8) 起き上がること				(9) 最近の出来事を思い出せないこと (%)			
		一人でできるよ う一人になった	一人でできな くなった	以前からでき るようになった	無回答	一人でできるよ う一人になった	一人でできな くなった	以前からでき るようになった	無回答	多くなった	少なくなった	以前からな し	無回答
男性 (全体)	1137	2.5	3.3	91.5	2.7	2.2	0.5	94.9	2.5	19.2	4.7	73.5	2.6
男性 65～69歳	405	2.7	1.8	94.1	1.4	2.3	-	96.4	1.4	16.7	4.1	76.9	2.3
70～74歳	333	0.9	3.9	92.3	3.0	0.9	1.3	94.8	3.0	19.3	3.9	74.7	2.1
75～79歳	232	4.0	2.8	90.4	2.8	3.2	-	94.4	2.4	22.0	4.8	70.4	2.8
80～84歳	121	3.5	5.3	86.3	4.8	2.6	0.4	93.0	4.0	21.1	6.6	67.8	4.4
85歳以上	47	2.8	8.4	83.2	5.6	4.5	1.1	89.9	4.5	20.7	10.6	65.4	3.4
女性 (全体)	1306	2.2	3.3	91.4	3.0	2.2	0.9	93.6	3.2	15.7	3.5	77.8	3.0
女性 65～69歳	466	2.0	2.0	93.7	2.4	2.4	0.4	94.5	2.8	11.4	2.4	84.3	2.0
70～74歳	373	1.5	3.1	92.7	2.7	1.5	0.4	95.8	2.3	17.6	2.3	77.8	2.3
75～79歳	258	3.6	3.2	90.3	2.9	3.2	1.4	91.7	3.6	16.2	5.8	73.4	4.7
80～84歳	136	2.3	5.1	87.1	5.5	1.2	2.3	91.0	5.5	17.6	5.1	73.4	3.9
85歳以上	73	2.5	9.7	82.4	5.4	2.9	2.9	88.9	5.4	27.2	6.8	60.2	5.7
無回答	31	1.7	3.0	89.0	6.3	4.7	-	80.6	14.7	10.1	1.7	82.7	5.4
合計	2474	2.4	3.3	91.5	2.9	2.2	0.7	94.1	3.0	17.2	4.1	75.9	2.9

(10) 食べ物を噛むこと

(11) 不意に尿がもれること (%)

	調査数 (N)	(10) 食べ物を噛むこと				(11) 不意に尿がもれること (%)			
		うまく噛めな くなった	うまく噛めな くなった	以前から噛 めるようになった	無回答	多くなった	少なくなった	以前からな し	無回答
男性 (全体)	1137	16.7	1.1	80.0	2.2	12.8	1.3	83.2	2.7
男性 65～69歳	405	17.2	0.9	80.1	1.8	9.5	0.5	88.7	1.4
70～74歳	333	17.2	1.3	79.4	2.1	10.3	0.4	86.7	2.6
75～79歳	232	14.4	0.8	83.2	1.6	19.6	2.4	74.8	3.2
80～84歳	121	18.9	1.8	75.3	4.0	15.4	3.1	76.2	5.3
85歳以上	47	15.6	1.7	79.3	3.4	19.6	4.5	70.9	5.0
女性 (全体)	1306	15.0	0.5	82.2	2.4	12.1	0.9	83.3	3.6
女性 65～69歳	466	9.8	-	87.8	2.4	8.3	0.4	87.8	3.5
70～74歳	373	16.1	0.8	81.2	1.9	13.0	1.1	83.9	1.9
75～79歳	258	19.4	1.1	77.3	2.2	14.7	1.1	79.5	4.7
80～84歳	136	18.0	0.4	78.9	2.7	12.5	1.2	81.6	4.7
85歳以上	73	20.8	0.4	74.2	4.7	21.5	2.5	68.8	7.2
無回答	31	13.5	3.0	78.9	4.6	19.5	4.6	68.7	7.2
合計	2474	15.8	0.8	81.1	2.3	12.5	1.1	83.1	3.2

男性全体と女性全体との比較では、大きな傾向の違いがみられない。

性・年齢別にみると、男女とも後期高齢者で全体的に悪化傾向が強くみられる。悪化した人の割合をみると、『(1) 外出の回数』については、男性の80歳以上、女性の75歳以上で30%を超え、『(2) 人としゃべること』については男性の85歳以上で、また、『(5) 活動意欲』については、男性の75歳以上、女性の80歳以上で30%を超えている。

表 1-9 転倒の有無別 最近半年間の心身の変化

(1) 外出の回数						(2) 人としゃべること				(3) 寝つきや眠りの深さ (%)			
	調査数 (N)	多くなった	少なくなった	変化なし	無回答	多くなった	少なくなった	変化なし	無回答	よくなった	悪くなった	変化なし	無回答
ある	329	7.2	35.9	55.3	1.6	9.2	28.2	60.7	1.9	6.8	32.4	57.4	3.4
ない	2083	7.4	22.6	67.8	2.2	6.6	19.6	71.7	2.2	4.2	21.3	72.2	2.3
該当しない (寝たきり等のため)	5	-	42.8	37.2	20.0	-	37.2	42.8	20.0	-	48.6	31.4	20.0
無回答	58	19.4	24.3	50.6	5.7	18.2	13.3	60.0	8.4	9.6	21.2	62.3	6.9
合計	2474	7.6	24.5	65.7	2.2	7.2	20.6	69.9	2.3	4.7	22.8	69.9	2.6

(4) 体重の増減						(5) 活動意欲				(6) 身の回りのこと (片付けなど) (%)			
	調査数 (N)	増えた	減った	変化なし	無回答	意欲が出てきた	意欲が低下した	変化なし	無回答	う一人のできるよ	な一人のできなく	又以前からできる	無回答
ある	329	18.6	19.3	59.3	2.8	8.8	37.8	51.4	2.1	6.0	10.1	81.6	2.2
ない	2083	11.3	14.9	71.0	2.8	4.4	24.6	68.4	2.6	3.3	4.0	90.7	2.0
該当しない (寝たきり等のため)	5	-	37.2	42.8	20.0	-	37.2	37.2	25.7	17.2	37.2	25.7	20.0
無回答	58	17.3	14.0	60.7	8.0	12.3	30.0	49.7	8.0	1.4	4.1	87.9	6.6
合計	2474	12.4	15.5	69.1	3.0	5.1	26.5	65.7	2.7	3.6	4.9	89.3	2.2

(7) 歩くこと						(8) 起き上がること				(9) 最近の出来事を思い出せないこと (%)			
	調査数 (N)	う一人のできるよ	な一人のできなく	又以前からできる	無回答	う一人のできるよ	な一人のできなく	又以前からできる	無回答	多くなった	少なくなった	は以前からない又	無回答
ある	329	6.1	8.2	83.6	2.1	5.5	2.7	88.5	3.3	26.4	5.4	66.2	2.1
ない	2083	1.8	2.4	93.0	2.8	1.7	0.3	95.2	2.8	15.6	3.8	77.8	2.7
該当しない (寝たきり等のため)	5	11.5	37.2	31.4	20.0	11.5	31.5	37.1	20.0	37.2	5.7	37.2	20.0
無回答	58	0.9	3.2	86.3	9.5	2.5	0.9	89.0	7.5	21.1	4.8	64.0	10.0
合計	2474	2.4	3.3	91.5	2.9	2.2	0.7	94.1	3.0	17.2	4.1	75.9	2.9

(10) 食べ物を噛むこと						(11) 不意に尿がもれること (%)			
	調査数 (N)	うまく噛めなく	うまく噛めるよ	又以前から噛める	無回答	多くなった	少なくなった	は以前からない又	無回答
ある	329	23.3	0.8	74.8	1.2	21.0	1.4	75.9	1.7
ない	2083	14.6	0.8	82.4	2.2	11.1	1.1	84.5	3.2
該当しない (寝たきり等のため)	5	37.2	-	42.8	20.0	31.5	-	48.5	20.0
無回答	58	14.7	-	75.8	9.6	14.0	0.5	75.5	10.0
合計	2474	15.8	0.8	81.1	2.3	12.5	1.1	83.1	3.2

最近1年間の転倒経験の有無別にみると、転倒経験のある人は転倒経験のない人と比べていずれの項目についても悪化傾向が強くみられる。特に、『(1) 外出の回数』『(5) 活動意欲』については、転倒経験のある人の約36~38%が悪化しており、『(3) 寝つきや眠りの深さ』についても32.4%と高い。

表 1-10 近所付き合いの程度別 最近半年間の心身の変化

(1) 外出の回数

	調査数 (N)	多くなった	少なくなった	変化なし	無回答
困った時に助け合う	406	9.2	15.9	71.5	3.4
世間話や立ち話をする程度	902	7.6	22.7	68.3	1.4
顔を合わせばあいさつする程度	1039	6.8	28.8	62.4	2.0
付き合いをしていない	77	6.0	38.3	52.1	3.6
無回答	50	15.9	15.2	61.2	7.7
合計	2474	7.6	24.5	65.7	2.2

(2) 人としゃべること

	多くなった	少なくなった	変化なし	無回答
困った時に助け合う	12.9	10.1	73.0	4.0
世間話や立ち話をする程度	6.9	16.1	75.4	1.6
顔を合わせばあいさつする程度	4.9	27.2	65.9	2.0
付き合いをしていない	4.8	47.0	45.5	2.8
無回答	19.0	8.9	64.4	7.7
合計	7.2	20.6	69.9	2.3

(3) 寝つきや眠りの深さ (%)

	よくなった	悪くなった	変化なし	無回答
困った時に助け合う	5.4	16.6	73.4	4.5
世間話や立ち話をする程度	3.9	22.1	72.1	1.9
顔を合わせばあいさつする程度	4.7	25.9	67.2	2.2
付き合いをしていない	6.7	26.9	63.2	3.3
無回答	8.4	16.7	68.8	6.1
合計	4.7	22.8	69.9	2.6

(4) 体重の増減

	調査数 (N)	増えた	減った	変化なし	無回答
困った時に助け合う	406	11.3	14.1	70.4	4.2
世間話や立ち話をする程度	902	12.4	15.5	70.3	1.8
顔を合わせばあいさつする程度	1039	13.1	15.3	68.3	3.4
付き合いをしていない	77	6.5	31.5	59.4	2.6
無回答	50	15.4	8.4	70.7	5.5
合計	2474	12.4	15.5	69.1	3.0

(5) 活動意欲

	意欲が出た	意欲が低下した	変化なし	無回答
困った時に助け合う	8.0	19.6	68.6	3.7
世間話や立ち話をする程度	4.7	23.7	69.8	1.7
顔を合わせばあいさつする程度	4.3	30.5	62.7	2.5
付き合いをしていない	-	45.5	48.2	6.3
無回答	14.1	21.5	54.9	9.4
合計	5.1	26.5	65.7	2.7

(6) 身の回りのこと (片付けなど) (%)

	う一人になつた	な一人た	又は以前からできる	無回答
困った時に助け合う	4.3	2.5	88.9	4.3
世間話や立ち話をする程度	2.8	3.6	92.3	1.3
顔を合わせばあいさつする程度	3.8	5.7	88.4	2.1
付き合いをしていない	6.5	21.4	70.4	1.7
無回答	4.4	4.7	85.3	5.5
合計	3.6	4.9	89.3	2.2

(7) 歩くこと

	調査数 (N)	う一人になつた	な一人た	又は以前からできる	無回答
困った時に助け合う	406	1.7	1.2	92.4	4.6
世間話や立ち話をする程度	902	2.2	2.3	93.3	2.2
顔を合わせばあいさつする程度	1039	2.5	3.9	90.8	2.8
付き合いをしていない	77	6.8	18.6	72.3	2.2
無回答	50	1.6	1.8	91.6	5.0
合計	2474	2.4	3.3	91.5	2.9

(8) 起き上がること

	う一人になつた	な一人た	又は以前からできる	無回答
困った時に助け合う	1.8	0.5	92.9	4.8
世間話や立ち話をする程度	1.9	0.9	94.7	2.5
顔を合わせばあいさつする程度	2.4	0.3	94.5	2.8
付き合いをしていない	5.5	6.0	86.8	1.7
無回答	1.6	1.1	91.8	5.5
合計	2.2	0.7	94.1	3.0

(9) 最近の出来事を思い出せないこと (%)

	多くなった	少なくなった	又は以前からない	無回答
困った時に助け合う	15.0	1.8	77.8	5.4
世間話や立ち話をする程度	15.8	2.9	79.4	1.9
顔を合わせばあいさつする程度	18.7	5.3	73.4	2.6
付き合いをしていない	25.0	14.3	58.1	2.6
無回答	16.8	2.6	75.1	5.5
合計	17.2	4.1	75.9	2.9

(10) 食べ物を噛むこと

	調査数 (N)	なうまかつた	ううまかつた	又は以前から噛める	無回答
困った時に助け合う	406	12.4	0.6	81.4	5.5
世間話や立ち話をする程度	902	13.1	0.9	84.7	1.3
顔を合わせばあいさつする程度	1039	18.9	0.8	78.5	1.8
付き合いをしていない	77	24.3	-	75.0	0.7
無回答	50	13.4	1.1	79.5	6.1
合計	2474	15.8	0.8	81.1	2.3

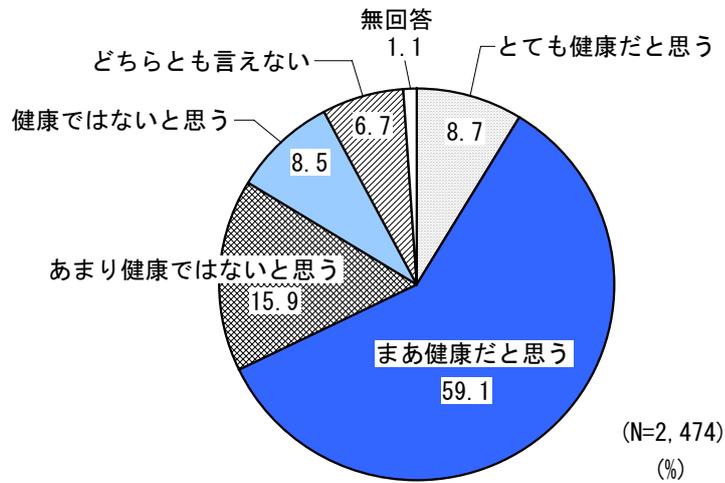
(11) 不意に尿がもれること (%)

	多くなった	少なくなった	又は以前からない	無回答
困った時に助け合う	8.6	1.2	86.2	4.0
世間話や立ち話をする程度	11.2	0.8	85.0	3.1
顔を合わせばあいさつする程度	14.8	1.6	81.1	2.5
付き合いをしていない	17.8	-	75.5	6.7
無回答	12.9	0.5	76.9	9.7
合計	12.5	1.1	83.1	3.2

近所づきあいの程度別にみると、近所付き合いの希薄な人ほど、『(1) 外出の回数』『(2) 人としゃべること』『(4) 体重の増減』『(5) 活動意欲』などについて悪化傾向が強くみられる。

イ 日ごろの健康状態

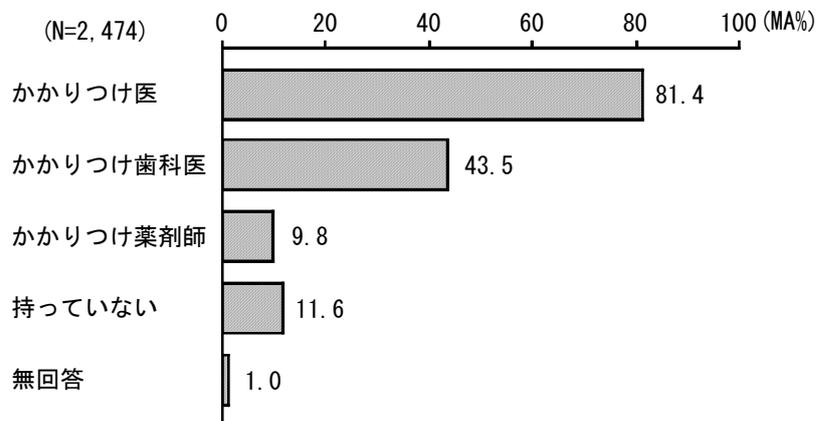
図 1-11 日ごろの健康状態



日ごろの健康状態については、『健康だと思う（計）』（「とても健康だと思う」に「まあ健康だと思う」を加えた割合）が67.8%を占め、『健康ではないと思う（計）』（「健康ではないと思う」に「あまり健康ではないと思う」を加えた割合）は24.4%となっている。

ウ かかりつけ医の有無

図 1-12 かかりつけ医の有無



かかりつけ医の有無については、「かかりつけ医」が81.4%を占め、次いで「かかりつけ歯科医」が43.5%、「かかりつけ薬剤師」が9.8%となっており、一方で「持っていない」は11.6%となっている。

表 1-11 性・年齢別 かかりつけ医の有無

(MA%)

	調査数 (N)	かかり つけ 医	か か り つ け 歯 科 医	か か り つ け 薬 剤 師	持 つ て い な い	無 回 答
男性 (全体)	1137	78.1	39.5	9.0	15.1	1.2
男性 65～69歳	405	70.1	36.7	6.8	21.3	0.5
70～74歳	333	79.0	40.3	10.3	13.7	2.6
75～79歳	232	84.4	44.4	10.0	10.8	0.4
80～84歳	121	87.2	40.5	9.7	8.8	0.9
85歳以上	47	87.2	31.3	11.2	8.9	2.2
女性 (全体)	1306	84.1	46.8	10.3	8.5	0.9
女性 65～69歳	466	79.1	51.2	8.3	11.0	-
70～74歳	373	83.9	50.6	11.5	7.7	1.1
75～79歳	258	88.5	44.6	12.2	7.2	1.4
80～84歳	136	93.0	37.5	12.1	3.9	1.2
85歳以上	73	84.9	25.1	7.9	10.4	3.2
無回答	31	90.2	52.2	13.9	9.8	-
合計	2474	81.4	43.5	9.8	11.6	1.0

性・年齢別でみると、いずれも男性より女性のほうが割合が高く、「かかりつけ医」は男性の75歳以上、女性の70歳以上で80%を超えている。また、「かかりつけ歯科医」は女性の65～74歳で5割強となっている。

表 1-12 日ごろの健康状態別 かかりつけ医の有無

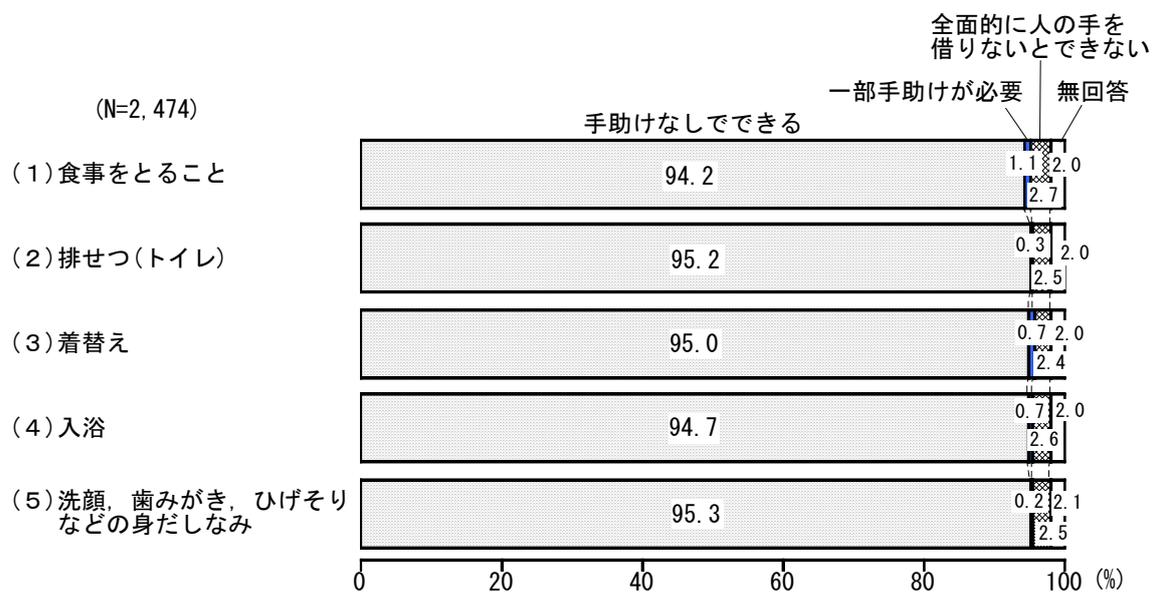
(MA%)

	調査数 (N)	か か り つ け 医	か か り つ け 歯 科 医	か か り つ け 薬 剤 師	持 つ て い な い	無 回 答
とても健康だと思う	215	78.1	45.5	4.0	13.2	0.2
まあ健康だと思う	1463	80.4	46.4	8.7	12.6	0.3
あまり健康ではないと思う	392	86.6	40.9	12.0	9.3	-
健康ではないと思う	210	91.8	37.4	15.4	4.9	0.6
どちらとも言えない	165	78.8	34.1	13.8	16.3	-
無回答	28	28.7	15.0	10.2	-	68.0
合計	2474	81.4	43.5	9.8	11.6	1.0

かかりつけ医の有無を日ごろの健康状態別にみると、いずれも「かかりつけ医」が7～9割台を占め最も多く、特に、健康ではないと思うが91.8%で最も多くなっている。また、「かかりつけ歯科医」はとても健康だと思う、まあ健康だと思うで46%前後を占め、健康ではないと思う人より多くなっている。

(2) 日常生活動作（基本的ADL）

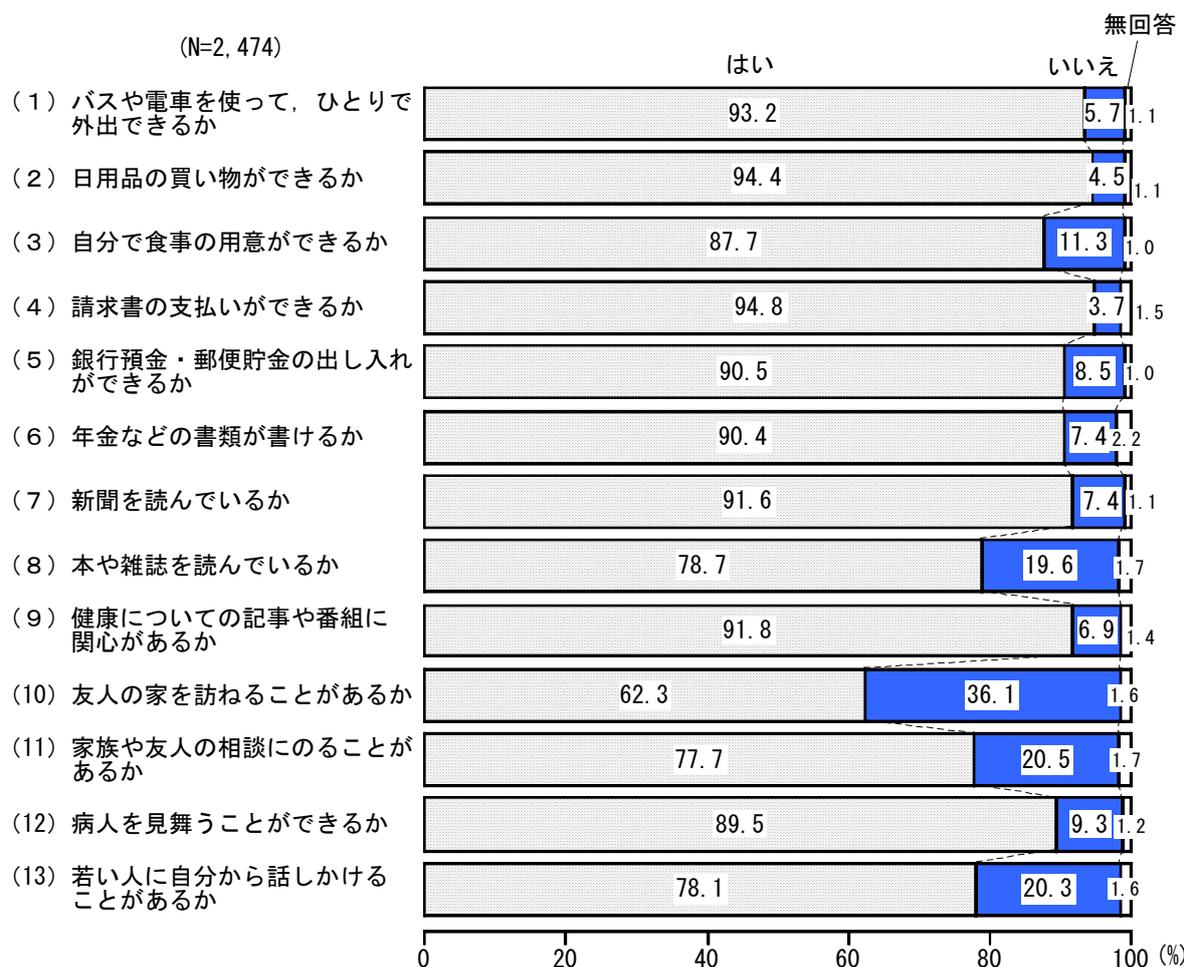
図 1-13 日常生活動作（基本的ADL）



基本的な日常基本動作についてみると、いずれの項目でも「手助けなしでできる」が90%以上を占めている。

(3) 老研式活動能力指標（高次ADL）※

図 1-14 老研式活動能力指標（高次ADL）



高次の日常生活動作をみると、老研式活動能力指標の13項目中9項目について「はい」が80%以上を占めるが、『(10) 友人の家を訪ねることがあるか』(62.3%)、『(11) 家族や友人の相談にのることがあるか』(77.7%) などでは、やや割合が低くなっている。

老研式活動能力指標総合点の平均は11.3点となっている。この点数は老研式活動能力指標の13項目について「はい」(できる)との回答に対し1点与え、その累積値(最高13点満点)により生活機能の自立の程度をみるもので、点数が高いほど自立度が高いことを意味する。

※老研式活動能力指標(高次ADL)とは、高齢者が、どのくらい生活機能の自立度(地域で、ひとりで日常生活を営むことができる能力)を維持しているかを測る指標として、東京都老人総合研究所が開発したものです。

表 1-13 性・年齢別 老研式活動能力指標（高次ADL）

	調査数 (N)	(%)					(点)
		3 点 以下	4 ～ 6 点	7 ～ 9 点	1 0 点 以上	無 回 答	平均
男性（全体）	1137	0.9	4.7	13.9	79.6	0.8	11.1
男性 65～69歳	405	0.9	5.4	14.0	79.2	0.5	11.2
70～74歳	333	0.9	3.9	12.4	81.1	1.7	11.1
75～79歳	232	-	4.0	13.2	82.4	0.4	11.3
80～84歳	121	0.9	3.5	17.2	78.0	0.4	10.9
85歳以上	47	6.1	11.7	18.4	63.7	-	9.6
女性（全体）	1306	2.0	2.6	9.3	85.7	0.4	11.4
女性 65～69歳	466	1.6	1.2	5.5	91.7	-	11.9
70～74歳	373	1.5	1.1	8.4	88.5	0.4	11.7
75～79歳	258	1.8	2.5	9.0	85.6	1.1	11.4
80～84歳	136	2.3	5.9	15.2	76.6	-	10.7
85歳以上	73	7.9	12.5	27.2	51.3	1.1	9.1
無回答	31	1.7	4.6	19.9	73.8	-	10.9
合計	2474	1.5	3.6	11.5	82.8	0.6	11.3

老研式活動能力指標総合点の男女別の平均は、男性全体11.1点、女性全体11.4点と、大きな差がみられない。

性・年齢別に分布をみると、男性では70歳代で、女性では65～79歳で「10点以上」が80%強を占めている。男性では「10点以上」が85歳以上でも60%を超えているのに対し、女性は51.3%と、男性を大きく下回っている。総合点の平均は、男女とも84歳までで10点台、85歳以上では男性9.6点、女性9.1点となっている。

表 1-14 転倒の有無別 老研式活動能力指標（高次ADL）

	調査数 (N)	(%)					(点)
		3 点 以下	4 ～ 6 点	7 ～ 9 点	1 0 点 以上	無 回 答	平均
ある	329	4.6	6.6	13.4	75.1	0.3	10.5
ない	2083	1.0	3.1	11.2	84.1	0.6	11.4
該当しない（寝たきり等のため）	5	42.8	-	11.5	25.7	20.0	5.0
無回答	58	-	3.0	13.7	82.8	0.5	11.3
合計	2474	1.5	3.6	11.5	82.8	0.6	11.3

最近1年間の転倒経験の有無別に分布をみると、「10点以上」の割合は、転倒経験のない人84.1%に対し、転倒経験のある人では75.1%と低くなっている。総合点の平均は、転倒経験のない人11.4点、転倒経験のある人10.5点となっている。

表 1-15 近所付き合いの程度別 老研式活動能力指標（高次ADL）

	調査数 (N)	(%)					(点)
		3 点 以下	4 ～ 6 点	7 ～ 9 点	1 0 点 以上	無 回 答	平均
困った時に助け合う	406	1.3	1.1	4.0	93.0	0.6	12.1
世間話や立ち話をする程度	902	0.9	2.4	9.7	86.9	0.2	11.6
顔を合わせばあいさつする程度	1039	0.9	4.4	15.5	78.4	0.8	10.9
付き合いをしていない	77	18.3	22.3	17.7	41.4	0.3	7.6
無回答	50	1.1	0.5	14.2	81.9	2.4	11.2
合計	2474	1.5	3.6	11.5	82.8	0.6	11.3

近所づきあいの程度別に分布をみると、「10点以上」の割合は、隣近所と親しく付き合っている人ほど高く、「困った時に助け合う」と回答した人では93.0%となっている。総合点の平均は、「付き合いをしていない」人のみ、10点を下回っている。

表 1-16 心身の変化への対応・改善の有無別 老研式活動能力指標（高次ADL）

	調査数 (N)	(%)					(点)
		3 点 以下	4 ～ 6 点	7 ～ 9 点	1 0 点 以上	無 回 答	平均
日ごろからよく気をつけて、改善に取り組んでいる	1093	0.6	1.0	7.4	90.4	0.7	11.9
気をつけてはいるが、適切に対応	1035	1.2	4.8	14.5	79.1	0.4	10.9
あまり気をつけていない	256	1.5	8.6	14.9	74.7	0.4	10.7
まったく気をつけていない	52	23.3	5.0	22.5	49.1	-	8.3
無回答	37	8.8	7.7	13.6	66.7	3.2	10.2
合計	2474	1.5	3.6	11.5	82.8	0.6	11.3

心身の変化への対応・改善の有無別に分布をみると、「10点以上」の割合は、対応・改善意識の高い人ほど高く、「日ごろからよく気をつけて、改善に取り組んでいる」と回答した人では90.4%となっている。総合点の平均は、「日ごろからよく気をつけて、改善に取り組んでいる」人と「まったく気をつけていない」人で3.6点の開きがある。

表 1-17 介護予防に関する知識の有無別 老研式活動能力指標（高次ADL）

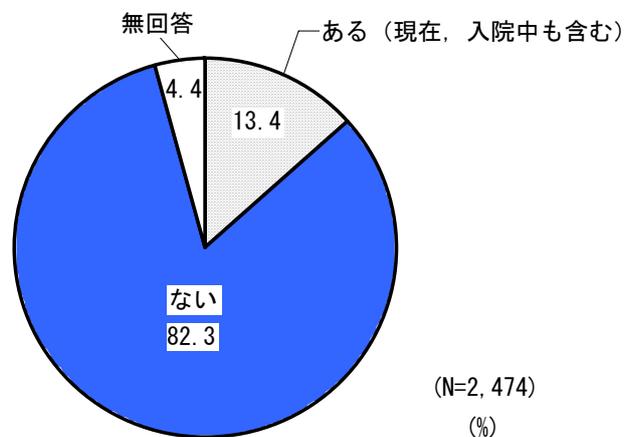
	調査数 (N)	(%)					(点)
		3点以下	4 ～ 6点	7 ～ 9点	10点以上	無回答	平均
よく知っている	518	1.0	0.9	6.6	91.0	0.5	12.0
ある程度は知っている	1086	0.3	2.3	11.1	85.7	0.5	11.6
聞いたことはある	533	1.3	5.8	14.2	78.2	0.4	10.8
まったく知らない	283	5.8	9.7	17.6	66.3	0.6	9.9
無回答	53	9.9	1.0	8.6	77.3	3.2	10.6
合計	2474	1.5	3.6	11.5	82.8	0.6	11.3

介護予防に関する知識の有無別に分布をみると、「10点以上」の割合は、介護予防等についてよく理解している人ほど高く、「よく知っている」と回答した人では91.0%となっている。総合点の平均は、「よく知っている」人と「まったく知らない」人で2.1点の開きがある。

(4) 入院経験と現在治療を受けている病気

ア この1年間に入院した経験

図 1-15 この1年間に入院した経験



この1年間に入院したことがある人は、現在入院中の人も含め13.4%となっている。

イ 現在治療を受けている病気

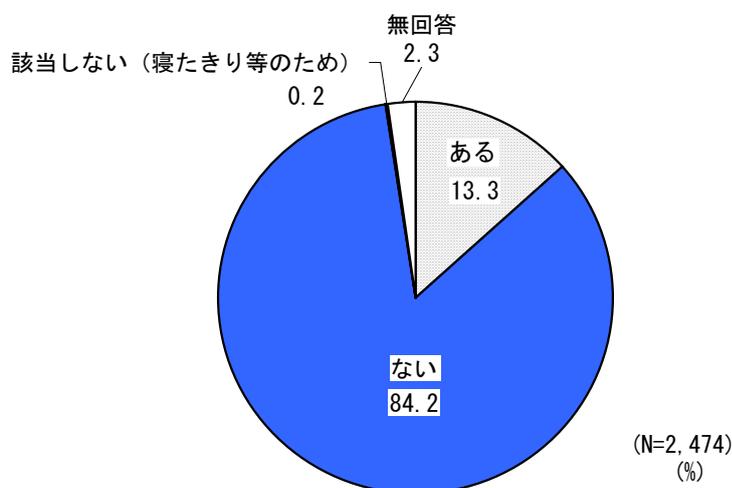
表 1-18 現在治療を受けている病気

調査数 (N)	(上段：件 下段：MA%)																		
	高血圧症	腰痛、膝痛などの病気	眼の病気	歯の病気	高脂血症	心臓病（心筋梗塞、狭心症など）	糖尿病	消化器系疾患	泌尿器系疾患	耳、鼻の病気	呼吸器系疾患（喘息、肺炎など）	脳血管疾患（脳梗塞、脳出血など）	肝臓病	腎臓病	精神疾患	結核	その他	特になし	無回答
2474	901	605	495	467	281	279	259	239	182	150	132	101	81	53	52	6	203	388	94
100.0	36.4	24.5	20.0	18.9	11.3	11.3	10.5	9.7	7.3	6.1	5.3	4.1	3.3	2.1	2.1	0.2	8.2	15.7	3.8

現在治療を受けている病気としては、「高血圧症」が36.4%と最も多く、次いで「腰痛、膝痛などの病気」(24.5%)、「眼の病気」(20.0%)、「歯の病気」(18.9%)の順となっている。

(5) 転倒経験

図 1-16 この1年間に転倒してケガをした経験



この1年間に転倒してケガをしたことがある人は、13.3%となっている。

表 1-19 性・年齢別 この1年間に転倒してケガをした経験

	調査数 (N)	割合 (%)			
		ある	ない	該当しない (寝たきり等のため)	無回答
男性 (全体)	1137	10.2	87.3	0.0	2.5
男性 65～69歳	405	5.9	92.8	-	1.4
70～74歳	333	10.3	87.1	-	2.6
75～79歳	232	13.6	84.0	-	2.4
80～84歳	121	13.7	80.2	0.4	5.7
85歳以上	47	20.7	76.0	-	3.4
女性 (全体)	1306	16.2	81.4	0.3	2.2
女性 65～69歳	466	13.0	85.4	-	1.6
70～74歳	373	18.4	79.3	-	2.3
75～79歳	258	16.2	79.9	1.1	2.9
80～84歳	136	19.1	78.1	0.4	2.3
85歳以上	73	19.4	77.1	0.7	2.9
無回答	31	7.6	89.0	0.8	2.6
合計	2474	13.3	84.2	0.2	2.3

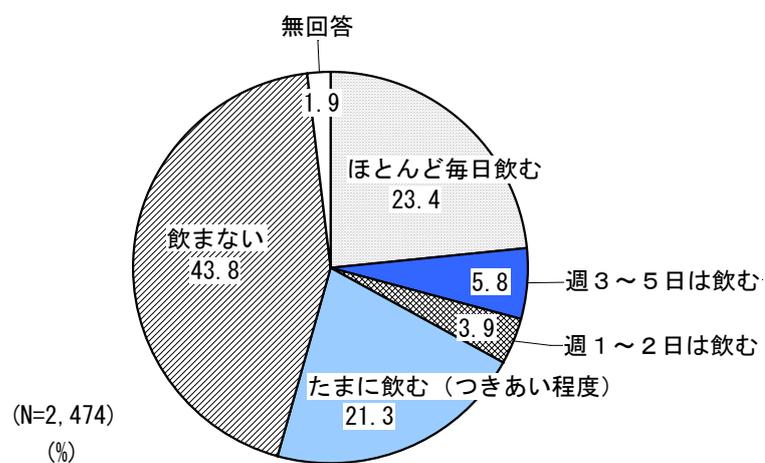
男性全体と女性全体を比べると、転倒経験のある人の割合は、男性10.2%に対し、女性16.2%となっている。

性・年齢別にみると、転倒経験のある人の割合は男女とも後期高齢者で高く、男性の85歳以上で20.7%となっている。

(6) 飲酒・喫煙の習慣

ア 飲酒の状況

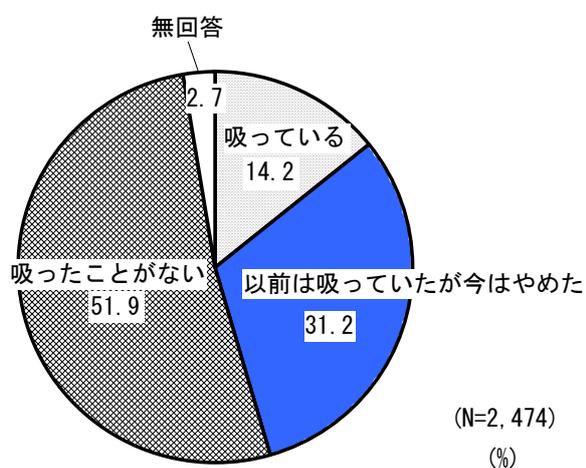
図 1-17 飲酒の状況



週1回以上の飲酒習慣のある人は33.1%であり、「ほとんど毎日飲む」が23.4%となっている。

イ 喫煙の状況

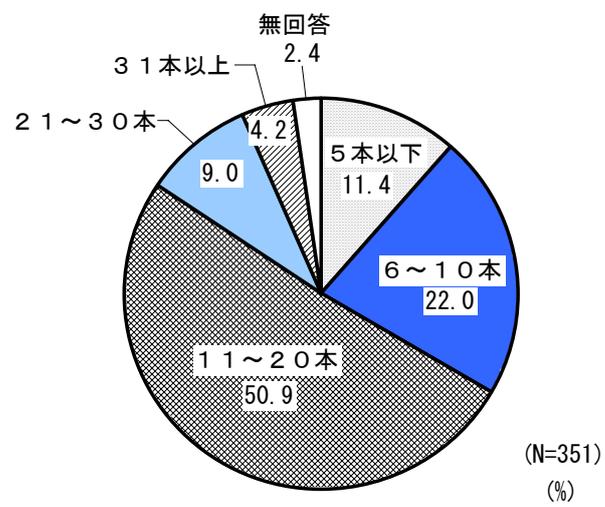
図 1-18 喫煙の状況



現在、喫煙の習慣のある人は全体の14.2%であり、「以前は吸っていたが今はやめた」(31.2%)を含めると45.4%となる。

ウ 1日の喫煙本数

図 1-19 1日の喫煙本数

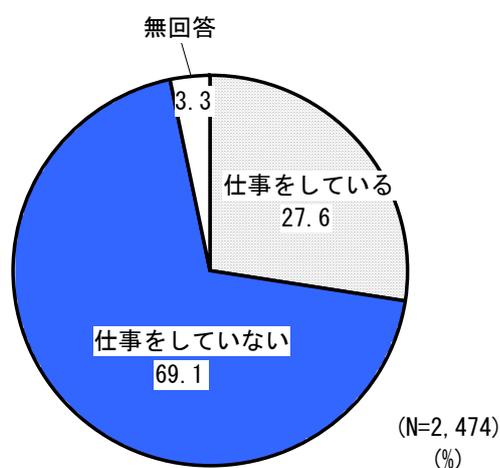


1日の喫煙本数をみると、「11~20本」が50.9%と最も多く、次いで「6~10本」が22.0%で、平均本数は16.6本となっている。

(7) 就労状況

ア 就労の有無

図 1-20 就労の有無



現在、就労している人は27.6%、就労していない人は69.1%となっている。

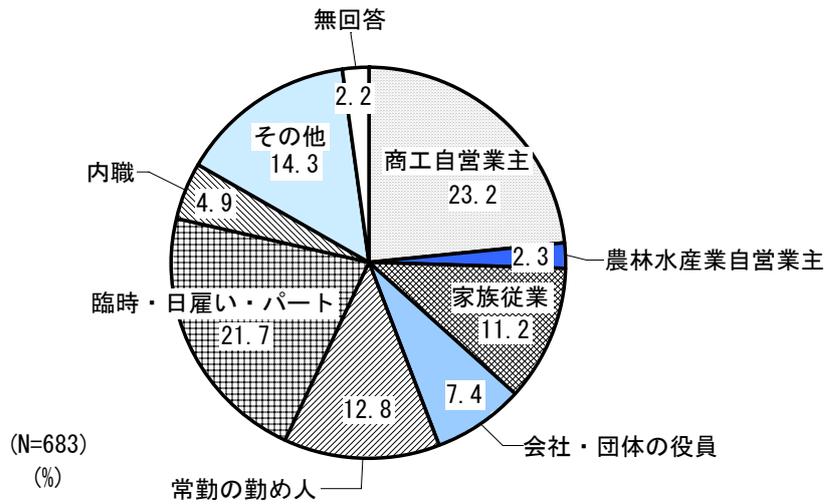
表 1-20 性・年齢別 就労の有無

	調査数 (N)	割合 (%)		
		働いている	働いていない	無回答
男性 (全体)	1137	36.6	60.7	2.7
男性 65～69歳	405	51.6	46.6	1.8
70～74歳	333	36.9	60.5	2.6
75～79歳	232	24.8	72.4	2.8
80～84歳	121	17.2	76.7	6.2
85歳以上	47	14.0	83.8	2.2
女性 (全体)	1306	20.1	76.1	3.7
女性 65～69歳	466	28.0	70.1	2.0
70～74歳	373	19.2	76.6	4.2
75～79歳	258	15.8	80.6	3.6
80～84歳	136	10.9	83.2	5.9
85歳以上	73	7.5	83.5	9.0
無回答	31	12.6	80.5	6.8
合計	2474	27.6	69.1	3.3

性・年齢別でみると、就労している人は男女とも年齢が上がるほど割合が低くなっており、男性では79歳まで、女性は65～69歳で20%以上となっている。

イ 就労形態

図 1-21 就労形態



就労している場合の形態は、「商工自営業主」が23.2%と最も多く、次いで「臨時・日雇い・パート」(21.7%)、「常勤の勤め人」(12.8%)、「家族従業」(11.2%)の順となっている。

表 1-21 性・年齢別 就労形態

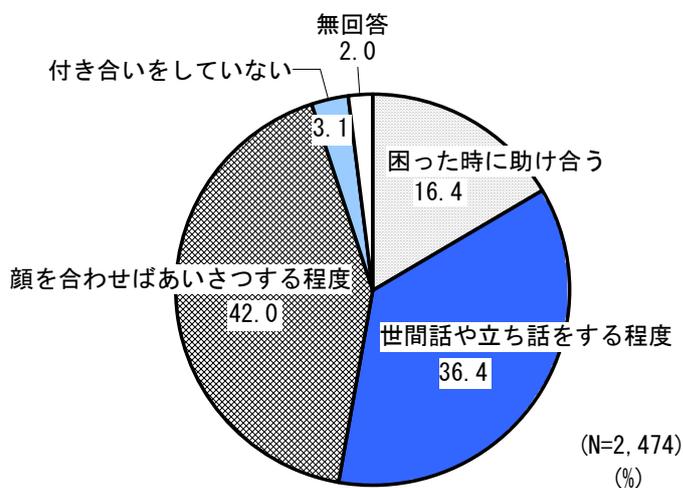
	調査数 (N)	商工自営業主	農林水産業自営業主	家族従業	会社・団体の役員	常勤の勤め人	臨時・日雇い・パート	内職	その他	無回答
男性 (全体)	417	29.1	3.3	2.4	8.0	18.4	19.9	1.5	14.6	2.6
男性 65～69歳	209	25.4	1.8	0.9	5.3	21.1	26.3	-	17.5	1.8
70～74歳	123	34.9	3.5	1.2	10.5	19.8	15.1	2.3	7.0	5.8
75～79歳	57	27.4	8.1	9.7	9.7	12.9	12.9	4.8	14.5	-
80～84歳	21	30.8	2.6	5.1	12.8	2.6	10.3	2.6	33.3	-
85歳以上	7	48.0	12.0	4.0	20.0	4.0	-	4.0	8.0	-
女性 (全体)	263	13.3	0.8	25.0	6.6	4.2	24.2	10.3	14.1	1.6
女性 65～69歳	130	11.3	-	22.5	2.8	5.6	35.2	9.9	12.7	-
70～74歳	71	14.0	-	22.0	14.0	4.0	18.0	12.0	14.0	2.0
75～79歳	41	18.2	2.3	36.4	4.5	2.3	11.4	4.5	15.9	4.5
80～84歳	15	14.3	7.1	25.0	10.7	-	-	17.9	21.4	3.6
85歳以上	6	14.3	-	38.1	4.8	-	4.8	19.0	14.3	4.8
無回答	4	50.0	-	13.6	-	-	36.4	-	-	-
合計	683	23.2	2.3	11.2	7.4	12.8	21.7	4.9	14.3	2.2

就労形態を性別にみると、「商工自営業主」は女性(13.3%)より男性(29.1%)のほうが15.8ポイント高く、「家族従業」は男性(2.4%)より女性(25.0%)のほうが22.6ポイント高くなっている。性・年齢別にみると、男性は65～69歳と女性の65～69歳は「臨時・日雇い・パート」が最も多くなっている。

(8) 近所付き合い

ア 近所付き合いの程度

図 1-22 近所付き合いの程度



近所付き合いの程度をみると、「顔を合わせばあいさつする程度」が42.0%と最も多く、次いで「世間話や立ち話をする程度」(36.4%)、「困った時に助け合う」(16.4%)となっている。

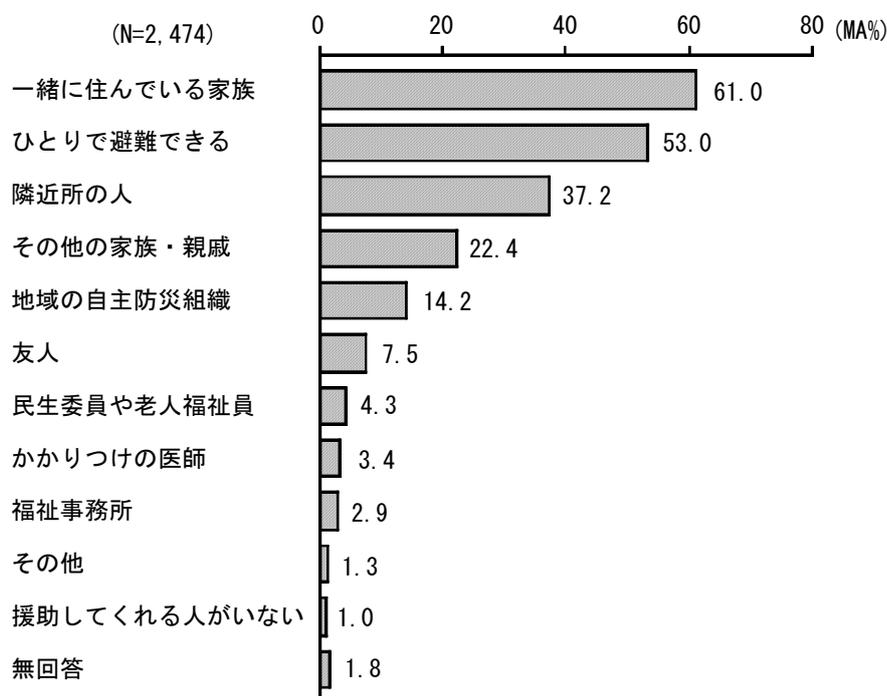
表 1-22 性・世帯構成別 近所付き合いの程度

	調査数 (N)	困った時に助け合う (%)	世間話や立ち話をする程度 (%)	顔を合わせばあいさつする程度 (%)	付き合いをしていない (%)	無回答 (%)
男性 (全体)	1137	12.3	27.5	54.4	3.4	2.4
男性 ひとり暮らし	93	4.2	24.5	56.6	11.6	3.1
夫婦のみ	629	14.5	26.5	54.9	1.9	2.1
兄弟姉妹のみ	7	7.4	7.4	77.9	-	7.4
二世帯同居	243	7.5	31.0	56.1	3.4	2.0
三世帯同居	100	17.4	29.1	45.3	3.6	4.6
その他	31	19.5	31.4	42.4	5.8	0.8
女性 (全体)	1306	20.2	44.1	31.1	2.9	1.7
女性 ひとり暮らし	283	24.4	37.1	31.9	4.5	2.1
夫婦のみ	466	21.7	47.2	28.0	1.7	1.4
兄弟姉妹のみ	25	19.4	41.2	32.2	7.3	-
二世帯同居	310	14.9	42.2	39.4	2.1	1.5
三世帯同居	150	23.6	51.3	21.7	1.7	1.7
その他	38	13.5	56.3	25.4	-	4.9
無回答	31	11.0	40.5	45.9	-	2.6
合計	2474	16.4	36.4	42.0	3.1	2.0

近所付き合いの程度を性別にみると、「困った時に助け合う」や「世間話や立ち話をする程度」は男性より女性のほうが高くなっている。性・世帯構成別にみると、「困った時に助け合う」は男性のひとり暮らしで4.2%と最も低く、男性の兄弟姉妹のみや二世帯同居も10%を下回っている。

イ 災害時に避難が必要になった場合の援助者

図 1-23 災害時に避難が必要になった場合の援助者



災害時に避難が必要になった場合の援助者については、「一緒に住んでいる家族」が61.0%で最も多く、次いで「ひとりで避難できる」が53.0%、「隣近所の人」が37.2%、「その他の家族・親戚」が22.4%となっている。

表 1-23 性・世帯構成別 災害時に避難が必要になった場合の援助者

	調査数 (N)	(MA%)											
		一緒に住んでいる家族	ひとりで避難できる	隣近所の人	その他の家族・親戚	地域の自主防災組織	友人	民生委員や老人福祉員	かかりつけの医師	福祉事務所	その他	援助してくれる人がいない	無回答
男性 (全体)	1137	58.3	60.7	35.8	21.0	14.3	6.9	3.5	3.5	4.0	1.6	1.2	2.1
男性 ひとり暮らし	93	3.5	74.6	29.5	18.7	6.9	8.3	5.2	1.6	13.5	1.3	5.1	3.1
夫婦のみ	629	60.5	60.1	36.1	23.2	15.9	6.1	2.7	3.0	2.3	1.2	1.2	1.8
兄弟姉妹のみ	7	92.6	40.2	41.9	47.0	7.4	-	-	7.4	7.4	-	-	-
二世帯同居	243	71.2	58.3	35.2	16.5	12.8	8.7	2.8	4.2	4.1	2.1	-	2.0
三世帯同居	100	67.5	65.7	38.1	18.5	14.6	5.6	2.8	7.5	2.1	0.3	-	4.6
その他	31	49.5	59.8	41.9	28.9	16.4	13.4	7.5	5.8	11.7	10.4	-	0.8
女性 (全体)	1306	63.6	46.0	38.4	24.0	14.2	7.9	4.9	3.3	2.0	1.1	0.8	1.5
女性 ひとり暮らし	283	2.1	63.5	47.9	25.4	11.6	9.7	10.4	4.3	2.9	2.9	2.1	2.1
夫婦のみ	466	78.1	43.2	37.3	29.6	15.7	8.9	2.5	2.7	1.4	0.6	0.4	1.2
兄弟姉妹のみ	25	71.8	47.0	37.0	15.1	4.2	13.6	4.2	2.1	-	-	-	-
二世帯同居	310	85.2	38.6	35.0	17.4	15.8	8.0	4.3	1.7	1.2	0.1	0.8	1.1
三世帯同居	150	92.6	35.3	36.3	19.3	10.1	2.7	3.2	5.1	1.9	-	-	1.3
その他	38	55.3	61.2	43.2	25.6	27.6	-	4.5	10.0	8.6	7.3	-	2.4
無回答	31	51.4	67.1	36.7	8.4	11.0	7.6	4.7	4.7	3.0	-	-	4.3
合計	2474	61.0	53.0	37.2	22.4	14.2	7.5	4.3	3.4	2.9	1.3	1.0	1.8

災害時に避難が必要になった場合の援助者について性別にみると、「ひとりで避難できる」は女性 (46.0%) より男性 (60.7%) のほうが14.7ポイント高くなっている。性・世帯構成

別にみると、「ひとりで避難できる」は男女ともひとり暮らしで60%以上となっており、男性では夫婦のみや三世代同居でも60%以上となっている。「隣近所の人」は男性の兄弟姉妹のみとその他、女性のひとり暮らしとその他で40%台となっている。

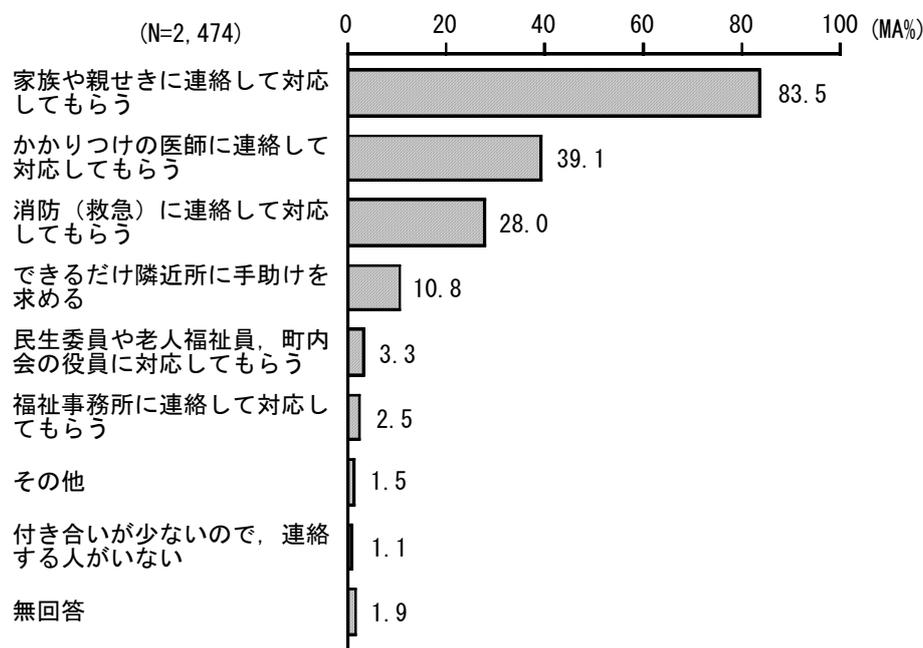
表 1-24 近所付き合いの程度別 災害時に避難が必要になった場合の援助者

	調査数 (N)	一緒に住んでいる家族	ひとりで避難できる	隣近所の人	その他の家族・親戚	地域の自主防災組織	友人	民生委員や老人福祉員	かかりつけの医師	福祉事務所	その他	な援助してくれる人がい	無回答
困った時に助け合う	406	59.1	62.8	59.0	24.4	19.4	15.2	5.0	4.9	2.3	1.7	-	0.1
世間話や立ち話をする程度	902	65.8	50.7	42.8	24.6	16.7	7.0	4.4	3.8	1.9	1.0	0.7	0.3
顔を合わせばあいさつする程度	1039	61.2	54.3	26.7	20.8	11.3	5.2	4.2	2.7	4.1	0.8	1.5	0.1
付き合いをしていない	77	42.2	40.2	14.3	17.1	7.0	3.1	2.7	2.8	5.0	10.0	2.4	-
無回答	50	16.2	9.7	10.7	7.8	-	7.3	-	-	-	-	1.1	80.3
合計	2474	61.0	53.0	37.2	22.4	14.2	7.5	4.3	3.4	2.9	1.3	1.0	1.8

災害時に避難が必要になった場合の援助者を近所付き合いの程度別にみると、近隣との関係が親密な人ほど、「隣近所の人」の割合が高い。一方、近隣と付き合いしていない人は「福祉事務所」を除いて、いずれの援助者も割合は低くなっている。

ウ 急病時の対処方法

図 1-24 急病時の対処方法



急病時の対処方法については、「家族や親せきに連絡して対応してもらう」が83.5%で最も多く、次いで「かかりつけの医師に連絡して対応してもらう」が39.1%、「消防（救急）に連絡して対応してもらう」が28.0%となっている。

表 1-25 性・世帯構成別 急病時の対処方法

	調査数 (N)	家族や親せきに連絡	かかりつけの医師に連絡	消防（救急）に連絡	できるだけ隣近所に手助けを求める	民生委員や町内会、老人福祉員に連絡	福祉事務所に連絡	その他	付き合いが少ない	無回答
男性（全体）	1137	81.6	38.4	31.9	9.5	2.5	2.8	1.6	1.4	2.2
男性 ひとり暮らし	93	48.8	32.2	29.7	16.5	5.2	16.2	3.0	5.1	2.0
男性 夫婦のみ	629	82.4	42.6	33.1	9.6	2.2	1.8	1.8	1.4	2.1
男性 兄弟姉妹のみ	7	79.8	40.2	72.4	7.4	12.8	12.8	-	-	-
男性 二世帯同居	243	89.3	30.4	26.9	7.0	3.1	0.4	0.2	0.6	2.0
男性 三世帯同居	100	90.2	44.4	30.5	8.0	0.5	-	1.8	0.9	1.7
男性 その他	31	82.0	18.9	45.7	9.2	0.8	4.6	6.3	-	5.8
女性（全体）	1306	85.8	39.7	24.7	11.6	3.9	2.1	1.4	0.9	1.7
女性 ひとり暮らし	283	76.1	35.1	24.9	18.6	9.8	4.6	3.6	3.1	2.0
女性 夫婦のみ	466	87.8	44.6	27.1	10.6	2.2	1.3	1.5	0.4	0.9
女性 兄弟姉妹のみ	25	83.8	34.5	22.4	17.8	3.1	2.1	-	-	-
女性 二世帯同居	310	88.7	40.3	24.9	7.7	2.4	1.5	0.1	0.1	2.3
女性 三世帯同居	150	94.5	34.2	18.2	9.4	0.8	1.0	-	0.4	2.5
女性 その他	38	90.6	34.6	31.8	7.6	6.6	3.8	0.7	-	-
無回答	31	55.8	37.6	26.9	22.0	9.8	8.5	-	-	-
合計	2474	83.5	39.1	28.0	10.8	3.3	2.5	1.5	1.1	1.9

急病時の対処方法について性別にみると、「家族や親せきに連絡して対応してもらう」は男性（81.6%）より女性（85.8%）のほうが4.2ポイント高く、「消防（救急）に連絡して対応し

てもら」は女性（24.7%）より男性（31.9%）のほうが7.2ポイント高くなっている。性・世帯構成別にみると、「家族や親せきに連絡して対応してもら」は男性のひとり暮らしで48.8%と低い、それ以外の世帯構成では男女とも70%以上となっている。「できるだけ隣近所に手助けを求める」は男女ともひとり暮らしで最も高くなっている。

表 1-26 近所付き合いの程度別 急病時の対処方法

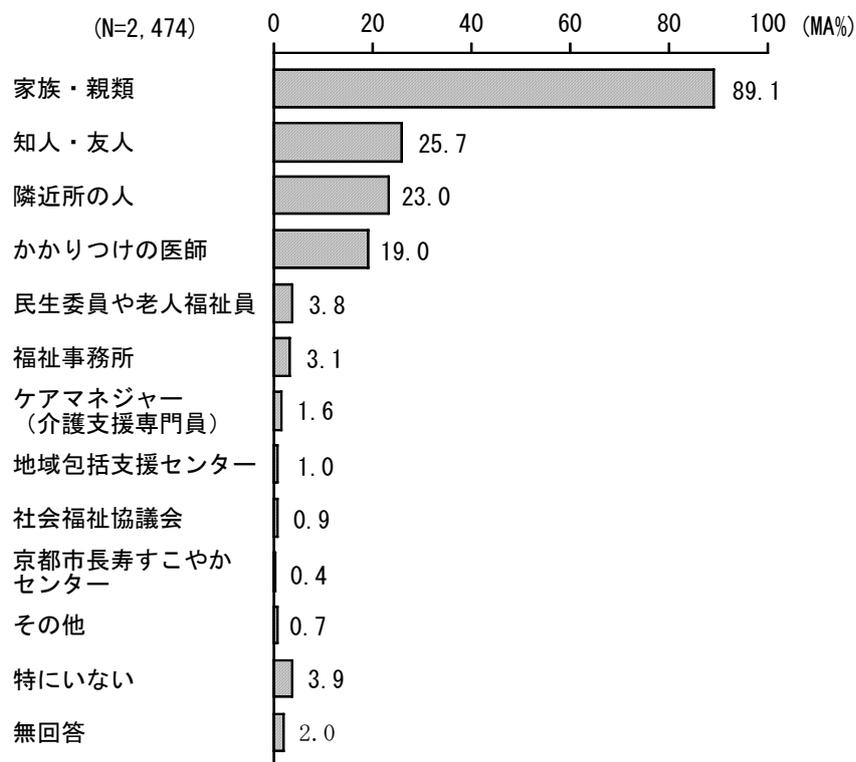
(MA%)

	調査数 (N)	て家族や親せきに連絡し	絡かしてついでに医師に連絡し	て消防（救急）に連絡し	助けるだけ隣近所に手	応員、民生委員や老人福祉社	対福社事務所に連絡して	その他	いで、付き合いが少ないの	無回答
困った時に助け合う	406	87.4	45.3	28.2	23.7	4.9	1.4	2.2	0.1	2.8
世間話や立ち話をする程度	902	86.3	40.7	28.0	10.9	3.3	1.7	0.6	0.7	1.4
顔を合わせばあいさつする程度	1039	80.7	35.7	29.7	6.3	2.9	3.3	2.0	1.4	1.3
付き合いをしていない	77	63.8	29.4	10.7	3.8	1.2	8.9	0.7	6.1	12.8
無回答	50	89.5	43.8	18.9	8.1	1.6	-	1.1	1.1	0.5
合計	2474	83.5	39.1	28.0	10.8	3.3	2.5	1.5	1.1	1.9

急病時の対処方法を近所付き合いの程度別にみると、「家族や親せきに連絡して対応してもら」は困った時に助け合う（87.4%）で最も高く、「できるだけ隣近所に手助けを求める」は近所付き合いが密になるほど高い割合となっている。

エ 相談相手

図 1-25 相談相手



相談相手については、「家族・親類」が89.1%で圧倒的に多くなっている。それ以外では、「知人・友人」が25.7%、「隣近所の人」が23.0%、「かかりつけの医師」が19.0%となっている。

表 1-27 性・世帯構成別 相談相手

	調査数 (N)	家族・親類	知人・友人	隣近所の人	かかりつけの医師	民生委員や老人福祉員	福祉事務所	ケアマネジャー (介護支援専門員)	地域包括支援センター	社会福祉協議会	京都市長寿すこやかセンター	その他	特にいない	無回答
男性 (全体)	1137	88.0	22.0	20.0	18.7	3.4	3.5	1.3	0.9	0.8	0.2	0.6	4.7	2.3
男性 ひとり暮らし	93	60.1	23.1	13.1	19.8	12.3	13.1	-	1.5	0.3	-	0.9	11.6	2.0
男性 夫婦のみ	629	90.4	22.1	20.2	18.4	2.3	2.8	1.3	0.7	0.6	0.3	0.7	4.3	2.4
男性 兄弟姉妹のみ	7	87.2	-	14.7	27.2	-	12.8	-	-	-	-	-	-	-
男性 二世帯同居	243	91.4	22.0	18.4	15.6	2.1	2.0	1.9	1.0	0.2	-	-	4.0	1.7
男性 三世帯同居	100	94.6	25.2	28.9	33.0	5.5	1.7	2.0	0.5	2.2	-	1.8	3.7	0.8
男性 その他	31	82.0	26.3	25.1	14.2	6.3	-	-	3.0	0.8	0.8	1.7	4.6	5.8
女性 (全体)	1306	90.3	29.1	25.5	18.9	4.2	2.7	1.8	1.1	0.9	0.4	0.8	3.1	1.8
女性 ひとり暮らし	283	78.5	34.0	32.5	19.9	8.8	4.7	1.7	3.3	0.6	0.9	1.1	4.8	1.6
女性 夫婦のみ	466	94.7	32.4	23.8	20.4	3.0	2.7	1.0	0.4	1.9	0.1	0.8	2.5	1.1
女性 兄弟姉妹のみ	25	92.7	42.3	30.9	5.8	2.1	2.1	2.1	-	2.1	-	-	7.3	-
女性 二世帯同居	310	93.0	24.1	25.4	19.7	2.7	1.5	2.4	0.3	0.1	0.3	0.6	2.7	1.7
女性 三世帯同居	150	95.4	24.3	21.3	15.5	1.9	1.1	1.3	1.2	-	1.1	-	1.6	3.1
女性 その他	38	90.2	16.9	17.3	15.9	5.9	7.3	11.3	-	1.4	-	3.1	1.4	-
無回答	31	78.5	21.1	25.0	31.5	6.4	4.7	-	-	3.0	3.0	-	5.4	-
合計	2474	89.1	25.7	23.0	19.0	3.8	3.1	1.6	1.0	0.9	0.4	0.7	3.9	2.0

相談相手を性別にみると、「知人・友人」は男性 (22.0%) より女性 (29.1%) のほうが7.1ポイント高く、「隣近所の人」も男性 (20.0%) より女性 (25.5%) のほうが5.5ポイント高くなっている。性・世帯構成別にみると、「家族・親類」は男女ともひとり暮らしで最も低く、「知人・友人」はは女性のひとり暮らし、夫婦のみで30%台となっている。一方、「特にいない」は男性のひとり暮らしで11.6%と最も高くなっている。

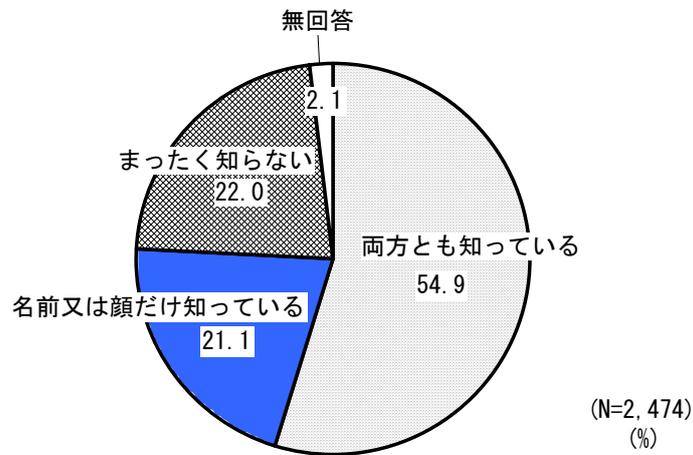
表 1-28 近所付き合いの程度別 相談相手

	調査数 (N)	家族・親類	知人・友人	隣近所の人	かかりつけの医師	民生委員や老人福祉員	福祉事務所	ケアマネジャー (介護支援専門員)	地域包括支援センター	社会福祉協議会	京都市長寿すこやかセンター	その他	特にいない	無回答
困った時に助け合う	406	90.7	42.8	55.0	28.3	9.3	3.5	1.8	1.9	1.6	0.5	1.0	0.5	2.8
世間話や立ち話をする程度	902	92.1	26.3	24.4	18.9	3.5	2.2	2.4	1.3	1.1	0.1	0.5	2.8	1.2
顔を合わせばあいさつする程度	1039	87.6	19.5	10.3	16.0	2.2	3.4	0.8	0.4	0.5	0.3	0.8	5.0	1.8
付き合いをしていない	77	64.9	8.5	8.5	5.0	2.2	5.3	0.3	-	-	0.3	0.3	18.1	11.3
無回答	50	86.6	32.4	23.0	28.0	2.8	6.5	2.8	-	0.5	3.4	-	4.7	0.5
合計	2474	89.1	25.7	23.0	19.0	3.8	3.1	1.6	1.0	0.9	0.4	0.7	3.9	2.0

相談相手を近所付き合いの程度別にみると、近隣との関係が親密な人ほど、「家族・親類」「隣近所の人」「かかりつけの医師」の割合が高い。一方、近隣と付き合いしていない人は「特にいない」の割合が高い。

オ 地域の町内会長の認知状況

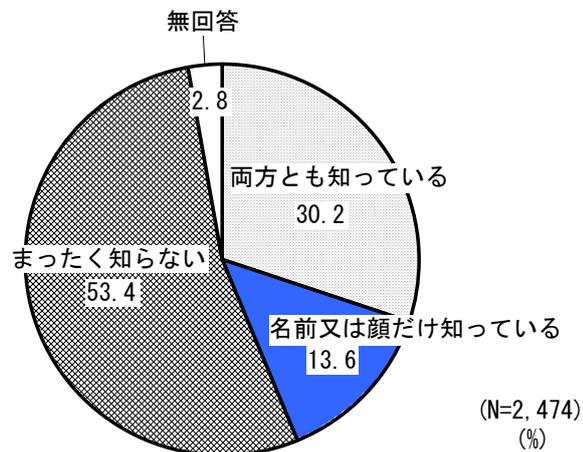
図 1-26 地域の町内会長の名前及び顔の認知状況



地域の町内会長（自治会長）の名前及び顔を両方とも知っているかについては、「両方とも知っている」は54.9%、「名前又は顔だけ知っている」は21.1%となっている。

カ 地域の民生委員の認知状況

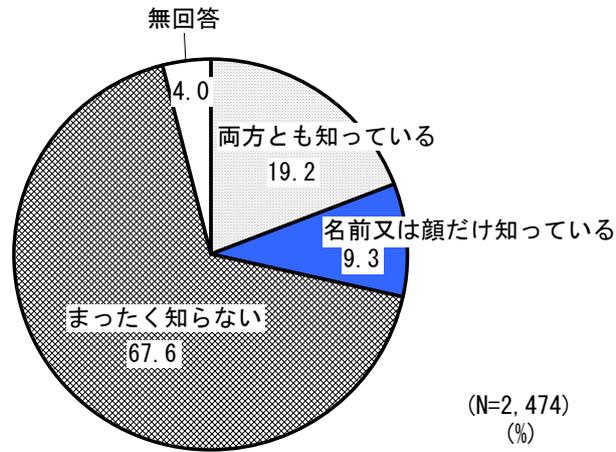
図 1-27 地域の民生委員の名前及び顔の認知状況



地域の民生委員の名前及び顔を両方とも知っているかについては、「両方とも知っている」は30.2%、「名前又は顔だけ知っている」は13.6%となっている。

キ 地域の老人福祉員の認知状況

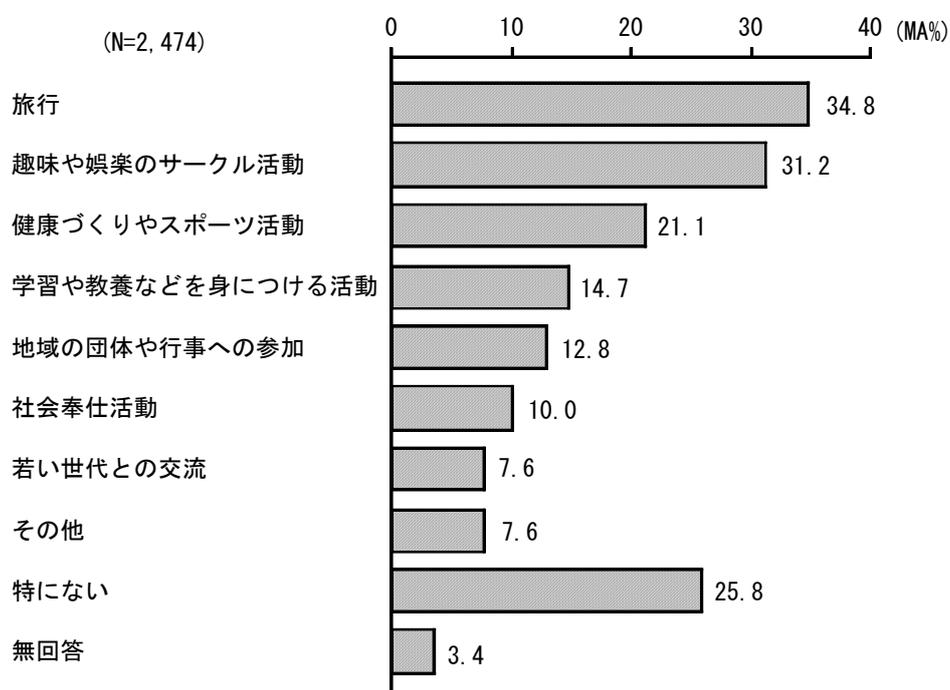
図 1-28 地域の老人福祉員の名前及び顔の認知状況



地域の老人福祉員の名前及び顔を両方とも知っているかについては、「両方とも知っている」は19.2%、「名前又は顔だけ知っている」は9.3%となっている。

(9) 生きがいを感じる活動

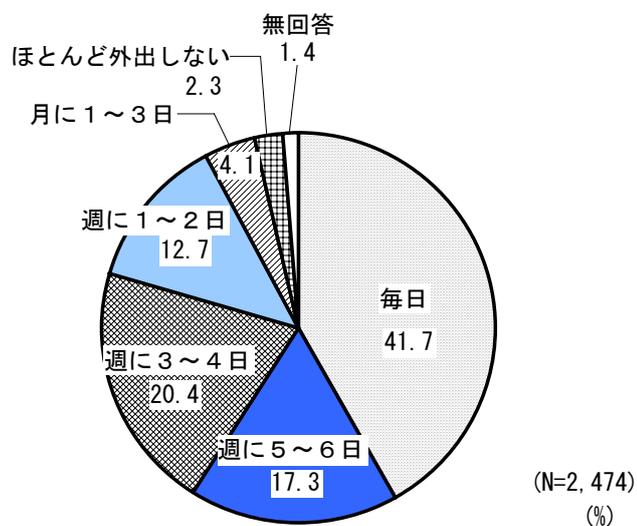
図 1-29 生きがいを感じる活動



現在生きがいを感じる活動は、「旅行」が34.8%と最も多く、次いで「趣味や娯楽のサークル活動」(31.2%)、「健康づくりやスポーツ活動」(21.1%)、「学習や教養などを身につける活動」(14.7%) などとなっている。

(10) 外出の頻度

図 1-30 外出の頻度



外出する頻度をみると、「毎日」が41.7%と最も多く、次いで「週に3~4日」(20.4%)、「週に5~6日」(17.3%)、「週に1~2日」(12.7%) の順となっている。

表 1-29 性・年齢別 外出の頻度

(%)

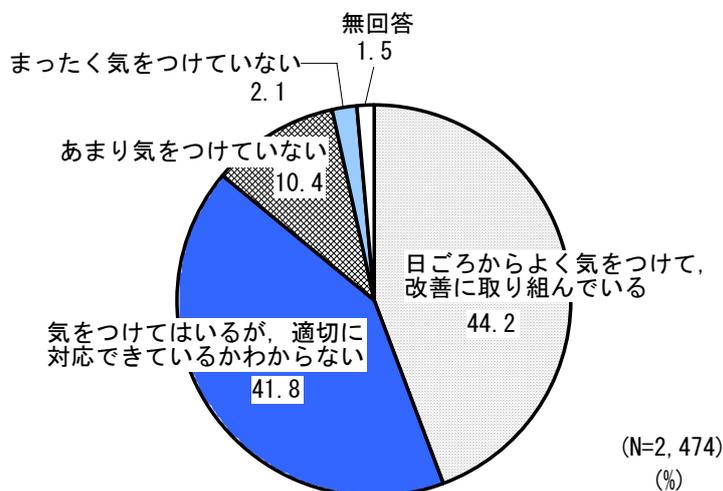
	調査数 (N)	毎日	週に 5 ～ 6 日	週に 3 ～ 4 日	週に 1 ～ 2 日	月に 1 ～ 3 日	ほとんど 外出しない	無回答
男性	1137	42.6	17.3	20.1	11.6	4.1	2.6	1.6
男性 65～69歳	405	45.7	19.5	18.1	8.1	2.7	2.7	3.2
70～74歳	333	47.2	15.0	17.6	12.4	4.3	2.6	0.9
75～79歳	232	38.0	20.0	22.8	13.6	4.0	1.6	-
80～84歳	121	34.4	14.1	26.4	15.9	6.6	1.3	1.3
85歳以上	47	27.4	10.6	26.3	14.0	9.5	9.5	2.8
女性	1306	40.9	17.5	20.5	13.7	4.0	2.0	1.3
女性 65～69歳	466	46.5	18.5	16.5	13.4	2.4	2.0	0.8
70～74歳	373	43.7	16.1	23.8	10.3	3.1	1.1	1.9
75～79歳	258	37.8	20.9	20.1	14.7	3.6	1.8	1.1
80～84歳	136	30.1	15.6	26.2	17.6	8.6	0.8	1.2
85歳以上	73	23.3	10.8	20.1	22.2	12.9	9.0	1.8
無回答	31	38.7	8.4	29.5	11.5	5.4	6.4	-
合計	2474	41.7	17.3	20.4	12.7	4.1	2.3	1.4

外出する頻度を性・年齢別にみると、「毎日」は男女とも65～74歳で4割台を占めており、年齢が上がるほど割合は低くなっている。

3 介護予防と介護のあり方について

(1) 心身の変化に対する意識

図 1-31 心身の変化への対応・改善の有無



心身の変化に対して日ごろから配慮している人は全体の86%を占め、「改善に取り組んでいる」人は44.2%となっている。

表 1-30 心身の変化への対応・改善の有無〔前回調査との比較〕

	調査数 (N)	日ごろからよく気をつけている	気をつけてはいるが、適切でない	あまり気をつけていない	まったく気をつけていない	無回答
今回調査 (平成19年)	2474	44.2	41.8	10.4	2.1	1.5
前回調査 (平成16年)	2667	35.3	40.0	16.9	3.0	4.8

前回調査 (平成16年実施) と比較すると、「日ごろからよく気をつけて、改善に取り組んでいる」人は前回 (35.3%) より8.9ポイント高くなっており、心身の変化に対して日ごろから配慮している人は前回 (75.3%) より10.7ポイント高い。

表 1-31 性・年齢別 心身の変化への対応・改善の有無

(%)

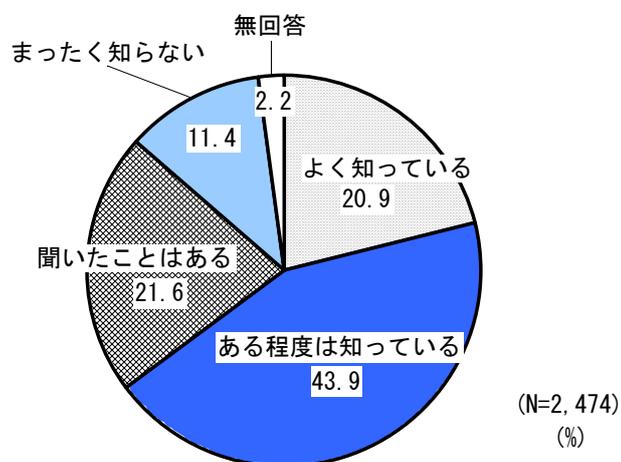
	調査数 (N)	て、日ごろからよく取り組んでいける	ないに気をつけているが、適切な	あまり気をつけていない	まったく気をつけていない	無回答
男性 (全体)	1137	38.2	44.0	13.2	2.9	1.7
男性 65～69歳	405	31.2	45.7	14.5	5.4	3.2
70～74歳	333	45.1	36.9	14.6	2.6	0.9
75～79歳	232	42.0	45.6	12.0	-	0.4
80～84歳	121	35.2	54.2	7.9	1.3	1.3
85歳以上	47	39.7	45.3	10.6	2.2	2.2
女性 (全体)	1306	49.1	40.1	7.9	1.5	1.4
女性 65～69歳	466	49.2	39.0	9.1	1.6	1.2
70～74歳	373	55.2	36.8	5.7	0.8	1.5
75～79歳	258	48.9	41.7	6.5	1.1	1.8
80～84歳	136	39.5	48.4	9.8	1.6	0.8
85歳以上	73	36.2	43.7	12.9	5.4	1.8
無回答	31	53.5	34.7	11.8	-	-
合計	2474	44.2	41.8	10.4	2.1	1.5

心身の変化への対応・改善の有無を性・年齢別にみると、心身の変化に対して日ごろから配慮している人は、男性は80～84歳 (89.4%) で、女性は70～74歳 (92.0%) で最も高くなっている。また、「日ごろからよく気をつけて、改善に取り組んでいる」は男性及び女性の70～74歳 (男性45.1%, 女性55.2%) で最も高くなっている。

(2) 介護予防に関する知識と取り組み

ア 介護予防の認知状況

図 1-32 介護予防の認知状況



介護予防について『知っている（計）』（「よく知っている」に「ある程度は知っている」を加えた割合）と答えた人は64.8%となっている。

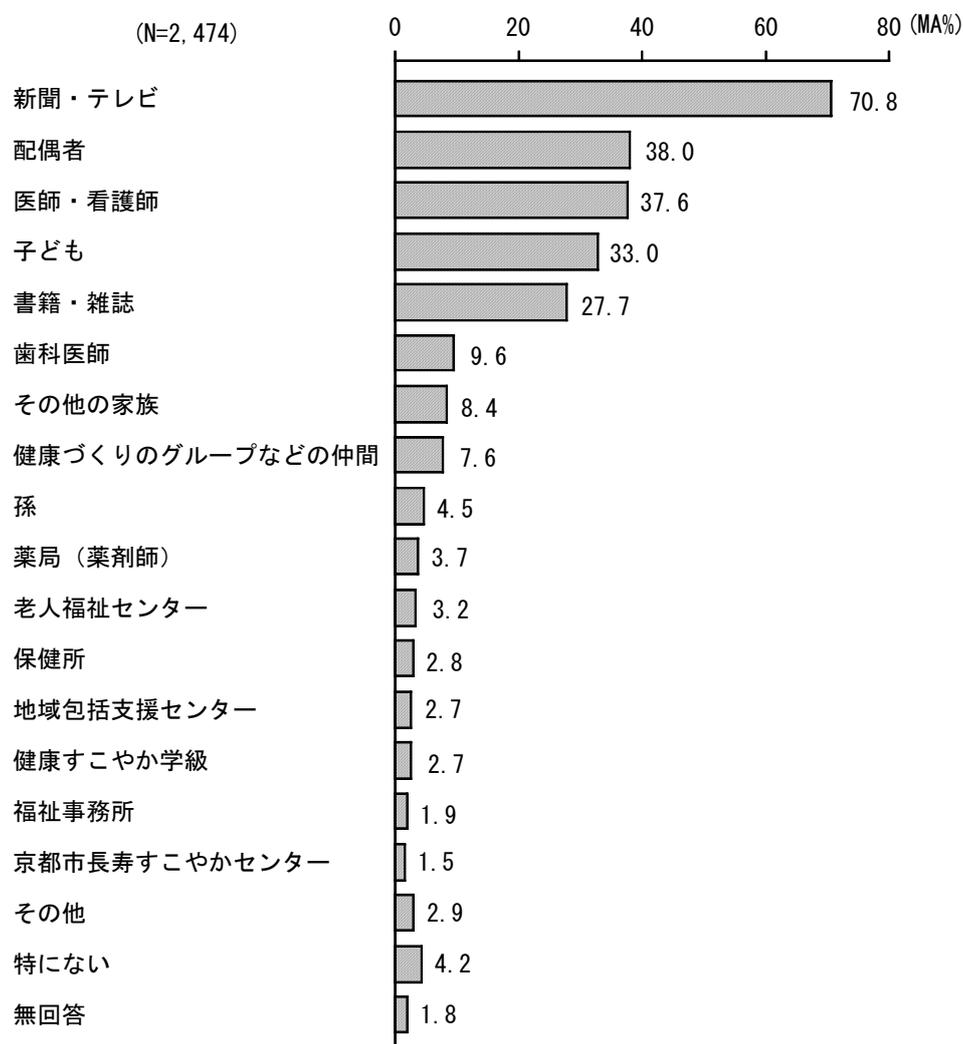
表 1-32 介護予防の認知状況〔若年者調査との比較〕

	調査数 (N)	よく知っている	ある程度は知っている	聞いたことはある	まったく知らない	無回答
高齢者一般調査	2474	20.9	43.9	21.6	11.4	2.2
若年者調査	1392	15.0	33.3	29.7	21.0	1.0

若年者調査と比較すると、『知っている（計）』は若年者（48.3%）より16.5ポイント高い。

イ 介護予防等に関する情報の入手方法

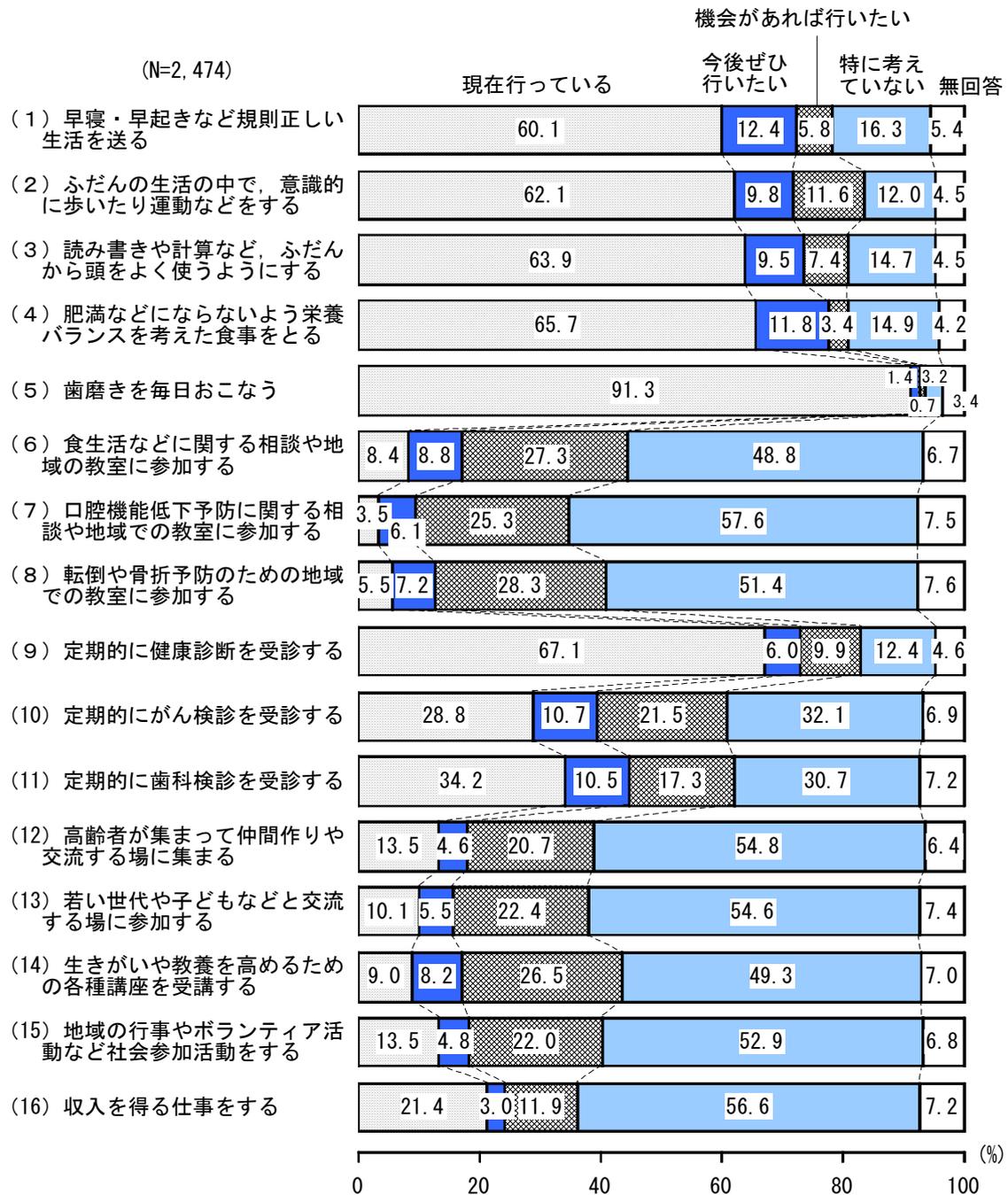
図 1-33 介護予防等に関する情報の入手方法



介護予防等に関する情報の入手方法は、「新聞・テレビ」が70.8%と最も多く、次いで「配偶者」(38.0%)、「医師・看護師」(37.6%)、「子ども」(33.0%)の順となっている。

ウ 病気・老化の予防のために取り組んでいること・取組への考え

図 1-34 病気・老化の予防のために取り組んでいること・取組への考え



病気・老化予防のために取り組んでいることとしては、『歯磨きを毎日おこなう』が91.3%と最も多く、次いで『定期的に健康診断を受診する』(67.1%)、『肥満などにならないよう栄養バランスを考えた食事をとる』(65.7%)、『読み書きや計算など、ふだんから頭を使うようにする』(63.9%) などとなっている。

今後の取組への考えをみると、意向(「今後ぜひ行いたい」に「機会があれば行いたい」を加えた割合)の高い活動は、『食生活などに関する相談や地域の教室に参加する』(36.1%)、『転倒や骨折予防のための地域での教室に参加する』(35.5%)、『生きがいや教養を高めるための各種講座を受講する』(34.7%)、『口腔機能低下予防に関する相談や地域での教室に参加する』(31.4%) などである。

表 1-33 性・年齢別 病気・老化の予防のために取り組んでいること・取組への考え①

(1) 早寝・早起きなど規則正しい生活を送る

(2) ふだんの生活の中で、意識的に歩いたり運動などをする

(3) 読み書きや計算など、ふだんから頭をよく使うようにする

	調査数 (N)	現在行っている	今後ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答
男性 (全体)	1137	59.4	11.6	7.0	17.9	4.0
男性 65～69歳	405	59.7	12.2	4.5	20.4	3.2
70～74歳	333	57.5	11.6	9.0	18.9	3.0
75～79歳	232	60.8	11.6	9.2	13.2	5.2
80～84歳	121	62.1	10.6	7.0	15.0	5.3
85歳以上	47	56.4	9.5	3.9	21.2	8.9
女性 (全体)	1306	61.0	13.2	4.8	14.4	6.6
女性 65～69歳	466	62.2	16.5	4.3	13.0	3.9
70～74歳	373	64.8	10.3	4.2	14.6	6.1
75～79歳	258	58.3	11.9	6.1	14.7	9.0
80～84歳	136	53.5	14.5	5.5	17.2	9.4
85歳以上	73	57.3	9.0	4.3	16.8	12.5
無回答	31	47.7	6.3	4.6	33.0	8.4
合計	2474	60.1	12.4	5.8	16.3	5.4

	現在行っている	今後ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答
男性 (全体)	63.0	8.8	11.9	13.7	2.6
男性 65～69歳	61.1	10.0	12.7	14.5	1.8
70～74歳	63.1	9.4	12.4	14.2	0.9
75～79歳	67.2	6.0	10.8	12.0	4.0
80～84歳	63.4	7.5	11.9	12.3	4.8
85歳以上	58.1	10.6	6.7	16.2	8.4
女性 (全体)	61.4	11.0	11.3	10.2	6.1
女性 65～69歳	64.2	12.2	12.6	9.1	2.0
70～74歳	64.8	10.3	9.2	8.4	7.3
75～79歳	57.9	11.5	13.3	10.1	7.2
80～84歳	53.5	10.2	9.8	15.2	11.3
85歳以上	54.1	5.7	9.3	17.6	13.3
無回答	56.2	-	10.1	23.6	10.0
合計	62.1	9.8	11.6	12.0	4.5

	現在行っている	今後ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答
男性 (全体)	61.0	9.6	8.2	17.8	3.4
男性 65～69歳	54.3	10.9	8.1	24.0	2.7
70～74歳	64.8	10.3	8.6	14.6	1.7
75～79歳	65.6	8.0	8.0	13.6	4.8
80～84歳	66.5	7.5	8.4	12.3	5.3
85歳以上	55.9	6.1	5.6	22.9	9.5
女性 (全体)	66.6	9.4	6.6	11.9	5.4
女性 65～69歳	64.6	11.4	7.1	13.8	3.1
70～74歳	70.1	7.7	6.5	10.0	5.7
75～79歳	70.5	9.7	6.1	7.9	5.8
80～84歳	62.5	8.6	6.6	14.8	7.4
85歳以上	55.9	6.5	6.5	18.6	12.5
無回答	54.2	12.2	14.7	13.5	5.4
合計	63.9	9.5	7.4	14.7	4.5

(4) 肥満などにならないよう栄養バランスを考えた食事をとる

(5) 歯磨きを毎日おこなう

(6) 食生活などに関する相談や地域の教室に参加する

	調査数 (N)	現在行っている	今後ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答
男性 (全体)	1137	61.7	12.6	3.4	19.0	3.4
男性 65～69歳	405	61.5	14.0	2.3	19.9	2.3
70～74歳	333	63.5	12.0	2.6	20.6	1.3
75～79歳	232	63.2	10.8	5.6	15.2	5.2
80～84歳	121	55.9	14.5	5.7	17.2	6.6
85歳以上	47	57.5	7.3	2.8	22.3	10.1
女性 (全体)	1306	69.4	11.0	3.3	11.4	4.8
女性 65～69歳	466	70.1	12.2	5.5	9.8	2.4
70～74歳	373	70.5	11.5	1.5	10.3	6.1
75～79歳	258	72.7	8.3	2.9	11.9	4.3
80～84歳	136	65.6	12.1	2.0	12.9	7.4
85歳以上	73	55.9	9.0	2.9	22.6	9.7
無回答	31	51.5	18.6	6.3	13.6	10.0
合計	2474	65.7	11.8	3.4	14.9	4.2

	現在行っている	今後ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答
男性 (全体)	89.6	1.9	1.0	4.6	2.8
男性 65～69歳	90.5	0.9	0.9	5.9	1.8
70～74歳	91.4	3.0	1.3	3.0	1.3
75～79歳	88.8	1.6	1.2	3.6	4.8
80～84歳	86.3	2.6	0.4	5.7	4.8
85歳以上	82.1	2.2	0.6	7.8	7.3
女性 (全体)	92.8	1.0	0.5	2.0	3.7
女性 65～69歳	96.1	0.4	0.4	1.2	2.0
70～74歳	92.3	1.1	0.8	1.9	3.8
75～79歳	91.7	1.4	0.4	1.4	5.0
80～84歳	89.8	2.0	0.4	3.1	4.7
85歳以上	84.2	-	0.7	6.8	8.2
無回答	92.0	-	-	0.8	7.2
合計	91.3	1.4	0.7	3.2	3.4

	現在行っている	今後ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答
男性 (全体)	6.3	7.1	24.8	56.6	5.2
男性 65～69歳	5.4	9.0	26.2	56.1	3.2
70～74歳	6.0	7.3	24.0	59.7	3.0
75～79歳	8.4	4.8	26.4	52.8	7.6
80～84歳	6.2	4.0	23.3	56.4	10.1
85歳以上	6.1	7.3	14.0	58.1	14.5
女性 (全体)	10.4	10.2	29.7	41.9	7.9
女性 65～69歳	11.4	13.0	33.5	38.6	3.5
70～74歳	10.7	10.3	28.4	44.1	6.5
75～79歳	9.4	8.6	32.7	38.8	10.4
80～84歳	9.4	6.6	21.9	46.9	15.2
85歳以上	7.9	3.6	15.8	53.0	19.7
無回答	4.6	12.3	18.5	52.8	11.9
合計	8.4	8.8	27.3	48.8	6.7

(7) 口腔機能低下予防に関する相談や地域での教室に参加する

(8) 転倒や骨折予防のための地域での教室に参加する

(9) 定期的に健康診断を受診する

	調査数 (N)	現在行っている	今後ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答
男性 (全体)	1137	2.4	5.1	21.4	65.5	5.6
男性 65～69歳	405	1.8	5.9	22.2	67.0	3.2
70～74歳	333	2.6	5.6	23.2	65.7	3.0
75～79歳	232	2.8	4.0	21.6	63.2	8.4
80～84歳	121	2.6	4.0	15.4	66.1	11.9
85歳以上	47	3.4	3.4	16.2	62.0	15.1
女性 (全体)	1306	4.6	6.9	28.9	50.5	9.1
女性 65～69歳	466	5.1	9.8	33.5	46.9	4.7
70～74歳	373	4.2	5.4	28.4	54.8	7.3
75～79歳	258	5.0	6.5	30.6	46.4	11.5
80～84歳	136	4.7	4.3	18.8	54.7	17.6
85歳以上	73	1.1	2.9	15.1	58.8	22.2
無回答	31	-	4.7	21.4	62.1	11.9
合計	2474	3.5	6.1	25.3	57.6	7.5

	現在行っている	今後ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答
男性 (全体)	3.0	6.2	25.0	60.3	5.5
男性 65～69歳	2.3	4.5	27.1	62.9	3.2
70～74歳	3.0	8.6	27.0	59.2	2.1
75～79歳	3.6	5.6	22.0	60.4	8.4
80～84歳	4.4	6.6	20.3	55.9	12.8
85歳以上	3.4	5.0	20.1	55.9	15.6
女性 (全体)	7.7	8.3	31.2	43.5	9.3
女性 65～69歳	7.9	11.4	33.9	41.7	5.1
70～74歳	9.2	9.2	31.8	42.1	7.7
75～79歳	7.2	4.7	33.8	41.7	12.6
80～84歳	5.9	4.7	23.4	50.0	16.0
85歳以上	3.9	2.5	17.2	55.9	20.4
無回答	4.7	1.7	21.4	55.8	16.5
合計	5.5	7.2	28.3	51.4	7.6

	現在行っている	今後ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答
男性 (全体)	67.4	7.2	10.7	11.4	3.4
男性 65～69歳	67.0	9.0	10.4	11.8	1.8
70～74歳	70.4	6.9	11.2	9.9	1.7
75～79歳	66.8	6.0	11.6	9.6	6.0
80～84歳	63.9	4.8	10.6	15.0	5.7
85歳以上	60.9	5.6	5.0	19.0	9.5
女性 (全体)	67.0	5.1	9.4	13.0	5.5
女性 65～69歳	64.6	7.1	12.6	11.8	3.9
70～74歳	70.5	5.0	7.7	12.6	4.2
75～79歳	70.5	4.0	7.9	11.9	5.8
80～84歳	67.2	3.5	6.6	14.5	8.2
85歳以上	52.7	0.7	7.5	23.7	15.4
無回答	58.1	1.7	4.6	23.8	11.8
合計	67.1	6.0	9.9	12.4	4.6

表 1-33 性・年齢別 病気・老化の予防のために取り組んでいること・取組への考え②

(10) 定期的ながん検診を受診する

(11) 定期的に歯科検診を受診する

(12) 高齢者が集まって仲間作りや交流する場に集まる

	調査数 (N)	現在行っている	今後ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答
男性 (全体)	1137	32.3	10.0	20.8	31.6	5.4
男性 65～69歳	405	31.7	11.8	24.0	29.0	3.6
70～74歳	333	31.3	10.7	20.6	33.0	4.3
75～79歳	232	36.8	8.4	19.2	28.8	6.8
80～84歳	121	31.3	6.6	17.6	37.0	7.5
85歳以上	47	24.0	6.1	10.6	43.6	15.6
女性 (全体)	1306	26.1	11.5	22.1	32.4	8.0
女性 65～69歳	466	26.0	13.8	28.3	28.3	3.5
70～74歳	373	29.1	13.4	21.1	30.3	6.1
75～79歳	258	27.0	10.8	20.9	31.3	10.1
80～84歳	136	23.8	4.7	13.3	41.8	16.4
85歳以上	73	12.5	2.5	7.9	54.8	22.2
無回答	31	17.6	6.3	22.7	38.5	14.8
合計	2474	28.8	10.7	21.5	32.1	6.9

	現在行っている	今後ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答
男性 (全体)	30.2	9.5	18.8	36.1	5.4
男性 65～69歳	29.9	10.4	21.3	34.8	3.6
70～74歳	32.6	9.4	19.3	36.1	2.6
75～79歳	31.2	10.4	17.2	35.2	6.0
80～84歳	26.9	5.3	15.9	38.3	13.7
85歳以上	19.6	9.5	9.5	45.8	15.6
女性 (全体)	37.7	11.5	16.1	26.1	8.6
女性 65～69歳	43.7	15.0	15.7	21.3	4.3
70～74歳	40.2	13.4	16.5	24.1	5.7
75～79歳	36.7	8.3	18.3	24.1	12.6
80～84歳	25.0	5.1	16.4	37.5	16.0
85歳以上	14.3	2.9	8.6	52.3	21.9
無回答	35.5	4.6	12.6	30.9	16.5
合計	34.2	10.5	17.3	30.7	7.2

	現在行っている	今後ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答
男性 (全体)	11.4	3.5	20.5	59.8	4.7
男性 65～69歳	8.1	3.6	23.1	62.9	2.3
70～74歳	12.9	3.9	20.2	60.5	2.6
75～79歳	13.6	3.2	18.8	56.8	7.6
80～84歳	13.7	3.1	15.9	57.7	9.7
85歳以上	12.8	2.8	21.8	48.6	14.0
女性 (全体)	15.4	5.5	20.8	50.5	7.8
女性 65～69歳	13.8	6.3	23.2	52.8	3.9
70～74歳	16.1	6.5	18.8	51.3	7.3
75～79歳	16.2	5.4	22.3	46.8	9.4
80～84歳	17.2	2.7	18.8	47.7	13.7
85歳以上	16.1	1.1	14.0	49.8	19.0
無回答	10.6	6.3	20.1	51.2	11.9
合計	13.5	4.6	20.7	54.8	6.4

(13) 若い世代や子どもなどと交流する場に参加する

(14) 生きがいや教養を高めるための各種講座を受講する

(15) 地域の行事やボランティア活動など社会参加活動をする

	調査数 (N)	現在行っている	今後ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答
男性 (全体)	1137	8.9	5.8	22.0	58.5	4.7
男性 65～69歳	405	10.0	7.2	25.8	54.8	2.3
70～74歳	333	9.9	5.2	22.7	59.7	2.6
75～79歳	232	7.6	4.8	17.2	63.2	7.2
80～84歳	121	7.5	6.2	18.1	58.1	10.1
85歳以上	47	3.9	2.8	18.4	59.2	15.6
女性 (全体)	1306	11.2	5.3	22.9	51.0	9.6
女性 65～69歳	466	13.4	5.1	27.6	47.6	6.3
70～74歳	373	12.3	6.1	21.1	53.3	7.3
75～79歳	258	8.6	5.8	23.4	49.6	12.6
80～84歳	136	9.0	4.3	17.6	53.5	15.6
85歳以上	73	5.0	2.9	11.5	60.6	20.1
無回答	31	7.7	-	13.8	66.7	11.9
合計	2474	10.1	5.5	22.4	54.6	7.4

	現在行っている	今後ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答
男性 (全体)	5.7	6.2	26.3	56.3	5.6
男性 65～69歳	4.1	5.9	27.1	59.7	3.2
70～74歳	6.9	6.9	29.2	53.2	3.9
75～79歳	7.2	6.0	24.4	54.8	7.6
80～84歳	5.7	7.0	22.5	54.2	10.6
85歳以上	4.5	3.4	16.8	60.3	15.1
女性 (全体)	12.1	10.1	26.7	43.0	8.2
女性 65～69歳	12.6	14.2	31.5	37.4	4.3
70～74歳	15.7	11.5	25.7	41.8	5.4
75～79歳	10.8	5.4	25.2	46.8	11.9
80～84歳	6.6	5.5	23.0	49.6	15.2
85歳以上	4.7	2.2	13.3	59.1	20.8
無回答	3.0	1.7	25.7	57.8	11.9
合計	9.0	8.2	26.5	49.3	7.0

	現在行っている	今後ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答
男性 (全体)	12.7	4.1	23.7	54.7	4.7
男性 65～69歳	10.9	5.0	29.0	52.9	2.3
70～74歳	16.7	4.7	25.3	50.2	3.0
75～79歳	12.0	3.2	18.8	59.2	6.8
80～84歳	11.5	2.2	15.0	60.8	10.6
85歳以上	6.1	1.7	14.5	64.2	13.4
女性 (全体)	14.4	5.6	20.5	51.1	8.4
女性 65～69歳	19.3	8.7	26.4	41.3	4.3
70～74歳	17.2	5.7	19.5	52.1	5.4
75～79歳	8.6	2.5	19.4	57.2	12.2
80～84歳	7.8	2.7	12.1	61.7	15.6
85歳以上	2.2	1.1	6.8	67.4	22.6
無回答	7.7	-	20.1	60.4	11.9
合計	13.5	4.8	22.0	52.9	6.8

(16) 収入を得る仕事をする

(%)

	調査数 (N)	現在行っている	今後ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答
男性 (全体)	1137	28.9	3.6	13.4	49.4	4.8
男性 65～69歳	405	43.9	5.4	12.7	36.7	1.4
70～74歳	333	29.2	3.4	20.2	44.6	2.6
75～79歳	232	15.6	1.6	9.2	64.8	8.8
80～84歳	121	11.0	2.6	8.8	66.5	11.0
85歳以上	47	8.9	0.6	3.9	72.6	14.0
女性 (全体)	1306	14.9	2.4	10.5	63.1	9.0
女性 65～69歳	466	22.4	4.3	13.8	55.5	3.9
70～74歳	373	16.5	1.5	11.5	63.2	7.3
75～79歳	258	8.3	1.4	8.3	69.4	12.6
80～84歳	136	3.9	1.6	5.1	72.7	16.8
85歳以上	73	3.6	0.4	3.2	69.9	22.9
無回答	31	14.3	4.6	12.2	52.4	16.5
合計	2474	21.4	3.0	11.9	56.6	7.2

病気・老化予防のために取り組んでいることを性・年齢別にみると、『(2) ふだんの生活の中で、意識的に歩いたり運動などをする』『(9) 定期的に健康診断を受診する』『(10) 定期的ながん検診を受診する』『(16) 収入を得る仕事をする』については、女性より男性のほ

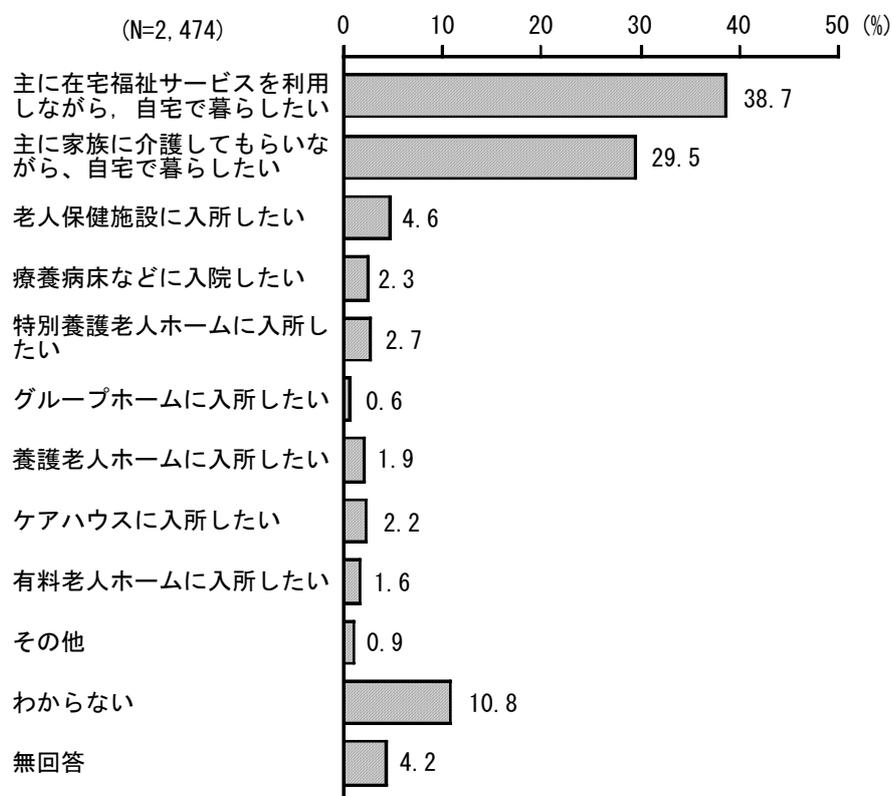
うが割合が高い。また、『(3) 読み書きや計算など、ふだんから頭をよく使うようにする』は女性の70歳代、『(4) 肥満などにならないよう栄養バランスを考えた食事をとる』は女性の65～74歳、『(9) 定期的に健康診断を受診する』は男性の70～74歳と女性の70歳代で70%以上となっており、『(5) 歯磨きを毎日おこなう』は男女ともいずれの年代も8割以上を占めている。

今後の取組への考えを性・年齢別にみると、意向が高い活動は、『(6) 食生活などに関する相談や地域の教室に参加する』は女性の65～69歳と75～79歳、『(7) 口腔機能低下予防に関する相談や地域での教室に参加する』と『(10) 定期的ながん検診を受診する』と『(14) 生きがいや教養を高めるための各種講座を受講する』は女性の65～69歳、『(8) 転倒や骨折予防のための地域での教室に参加する』は女性の65～74歳で4割台を占めている。

(3) 介護や援護が必要となった場合に希望する暮らし方

ア 介護や援護が必要となった場合に希望する暮らし方

図 1-35 介護や援護が必要となった場合に希望する暮らし方



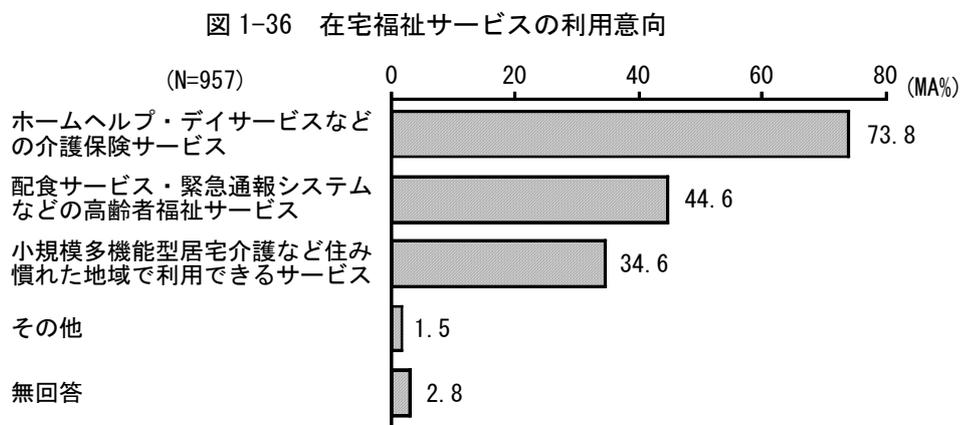
調査対象者本人に介護が必要となった場合に希望する暮らし方としては、「主に在宅福祉サービスを利用しながら、自宅で暮らしたい」が38.7%、「主に家族に介護してもらいながら、自宅で暮らしたい」が29.5%となっており、合計すると全体の68.2%が自宅での生活を希望している。

表 1-34 性・世帯構成別 介護や援護が必要となった場合に希望する暮らし方

	調査数 (N)	ら 利用 した たい	主に 在宅 福祉 サー ビス を 利用 しな がら 、自 宅で 暮ら した い	主に 家族 に介 護し ても らい なが ら、 自 宅で 暮ら した い	い 老人 保健 施設 に入 所し た	い 療養 病 床な どに 入院 した	所 特別 養護 老人 ホーム に入 所し たい	た グル ープ ホーム に入 所し たい	た 養護 老人 ホーム に入 所し たい	ケ ア ハウ スに 入所 した い	た 有 料老 人ホ ーム に入 所し たい	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
男性 (全体)	1137	35.9	37.6	3.7	1.5	2.1	0.3	2.1	1.8	1.3	1.0	8.2	4.6	
男性 ひとり暮らし	93	47.3	16.2	5.1	-	7.0	-	5.2	-	3.0	0.3	12.0	3.8	
男性 夫婦のみ	629	36.4	41.0	3.6	1.2	1.6	0.4	1.7	1.7	1.6	0.9	6.2	3.7	
男性 兄弟姉妹のみ	7	45.2	34.6	7.4	-	-	-	-	-	-	-	12.8	-	
男性 二世帯同居	243	37.7	33.5	1.9	2.9	1.4	0.4	2.4	2.8	0.8	0.4	10.2	5.6	
男性 三世帯同居	100	27.5	46.8	6.7	2.4	3.5	-	-	0.9	-	-	8.3	3.9	
男性 その他	31	11.3	50.6	8.4	3.0	-	-	-	5.8	-	-	6.3	7.5	
女性 (全体)	1306	41.0	22.5	5.4	3.0	3.3	1.0	1.9	2.6	1.8	0.9	12.8	3.8	
女性 ひとり暮らし	283	41.3	11.7	5.7	3.5	2.8	0.5	2.3	4.2	2.0	2.8	20.1	3.0	
女性 夫婦のみ	466	43.6	22.4	5.1	2.6	3.4	0.5	1.8	1.7	2.3	0.7	11.9	4.1	
女性 兄弟姉妹のみ	25	6.8	37.1	15.6	-	7.3	-	4.7	-	7.3	-	14.0	7.3	
女性 二世帯同居	310	38.9	27.2	5.2	3.6	3.3	2.1	2.2	3.1	1.0	-	10.0	3.5	
女性 三世帯同居	150	43.2	31.0	6.6	2.8	2.2	0.2	0.4	1.8	0.7	-	7.7	3.5	
女性 その他	38	51.8	17.0	2.4	-	3.8	-	3.8	4.5	3.8	-	7.6	5.2	
無回答	31	40.2	25.7	4.6	-	0.8	-	-	-	0.8	-	21.5	6.3	
合計	2474	38.7	29.5	4.6	2.3	2.7	0.6	1.9	2.2	1.6	0.9	10.8	4.2	

介護や援護が必要となった場合に希望する暮らし方について性別にみると、「主に家族に介護してもらいながら、自宅で暮らしたい」は女性 (22.5%) より男性 (37.6%) のほうが15.1ポイント高くなっている。性・世帯構成別にみると、男性の夫婦のみ、三世帯同居、その他、女性の兄弟姉妹のみは「主に家族に介護してもらいながら、自宅で暮らしたい」が最も多く、それ以外の世帯構成は「主に在宅福祉サービスを利用しながら、自宅で暮らしたい」が最も多くなっている。

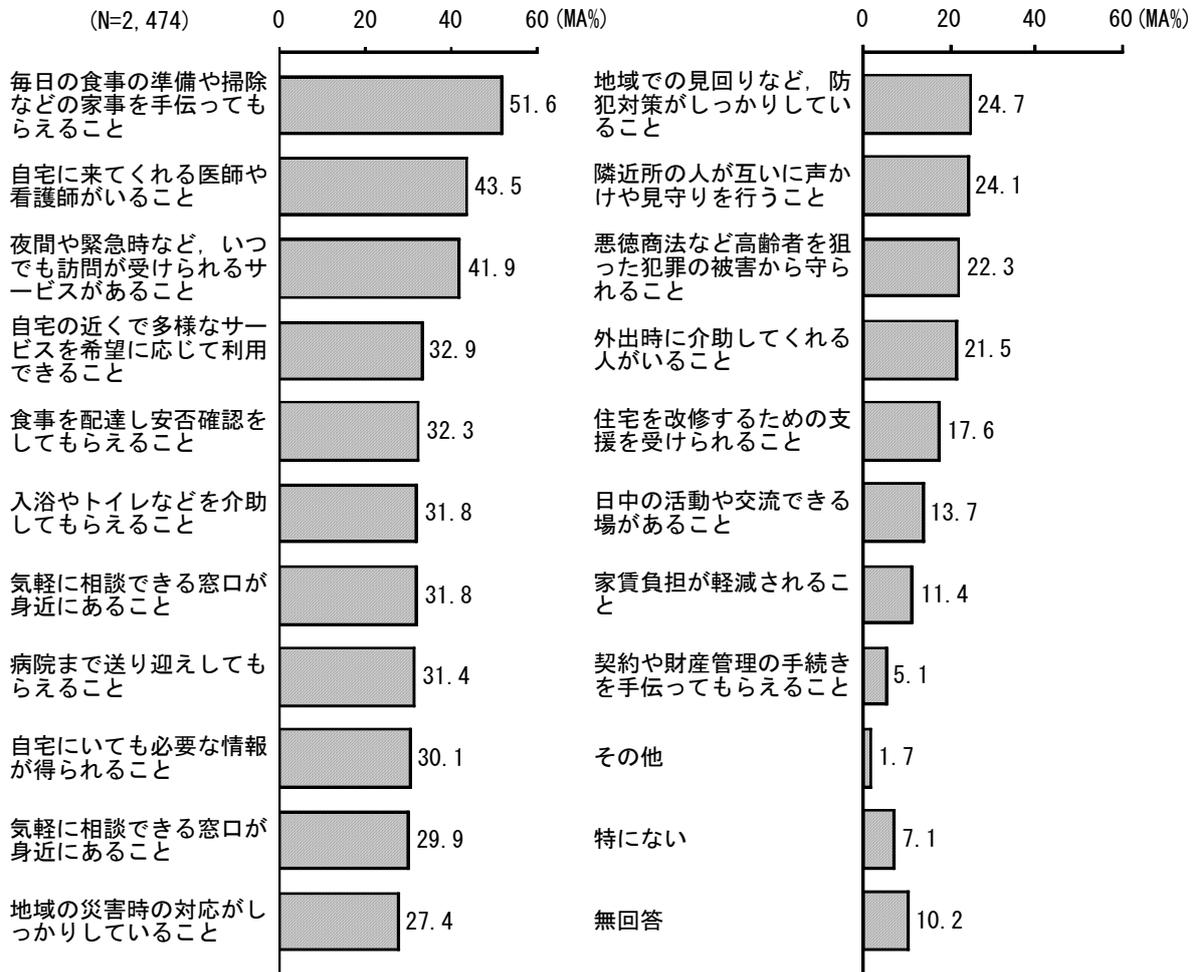
イ 在宅福祉サービスの利用意向



自宅で在宅福祉サービスを利用しながら暮らしていく場合に利用したいサービスについては、「ホームヘルプ・デイサービスなどの介護保険サービス」が73.8%で最も多く、次いで「配食サービス・緊急通報システムなどの高齢者福祉サービス」(44.6%) となっている。

(4) 在宅生活を続けていく上で必要な支援

図 1-37 在宅生活を続けていく上で必要な支援



在宅生活を続けていく上で必要な支援としては、「毎日の食事の準備や掃除・洗濯などの家事を手伝ってもらえること」が51.6%と最も多く、次いで「自宅に来てくれる医師や看護師がいること」(43.5%)、「夜間や緊急時など、いつでも訪問が受けられるサービスがあること」(41.9%)、「自宅の近くで多様なサービスを希望に応じて利用できること」(32.9%)、「食事を配達し安否確認をしてもらえること」(32.3%) などとなっている。

表 1-35 性・世帯構成別 在宅生活を続けていく上で必要な支援

		(MA%)										
	調査数 (N)	毎日の食事を手伝ってもらえること	毎日の食事を準備や掃除などの家事を手伝ってもらえること	自宅に来ている医師や看護師がいてくれること	夜間や緊急時など、いつでも訪問が受けられるサービスがあること	自宅の近くで多様なサービスを受けることができること	食事を配達し安否確認をしてもらえること	入浴やトイレなどを介助してもらえること	気軽に相談できる窓口があること	病院まで送り迎えしてもらえること	自宅にいても必要な情報が得られること	地域の災害時の対応がしつかりしていること
男性 (全体)	1137	53.6	41.1	40.3	31.9	31.9	31.2	30.0	31.2	28.5	25.1	
男性 ひとり暮らし	93	64.7	35.2	45.6	29.2	42.3	25.5	37.9	28.5	23.2	24.9	
夫婦のみ	629	54.2	39.7	40.4	31.1	31.0	29.2	29.1	31.3	29.6	25.3	
兄弟姉妹のみ	7	27.2	39.6	59.8	19.8	45.2	19.8	52.5	27.2	47.0	27.2	
二世帯同居	243	52.6	43.3	37.6	32.4	29.9	35.8	28.5	29.2	25.9	22.7	
三世帯同居	100	47.8	48.6	43.6	38.4	30.0	32.5	31.5	38.0	30.7	25.0	
その他	31	64.0	49.3	49.8	46.8	50.1	51.5	30.0	45.5	40.5	42.7	
女性 (全体)	1306	50.0	45.7	43.6	34.2	33.0	32.9	33.7	31.8	31.6	29.7	
女性 ひとり暮らし	283	47.6	45.0	43.9	31.1	34.6	31.0	31.2	27.7	30.3	31.1	
夫婦のみ	466	53.0	48.7	48.8	35.7	39.3	35.7	36.6	38.8	35.1	31.0	
兄弟姉妹のみ	25	39.1	37.0	24.1	17.9	20.9	20.4	25.6	12.6	18.9	25.5	
二世帯同居	310	53.5	47.4	42.4	37.7	30.6	33.8	33.7	28.4	32.7	28.6	
三世帯同居	150	40.5	37.1	31.2	32.1	18.5	28.1	28.6	24.2	26.1	25.2	
その他	38	64.9	49.7	52.1	42.5	36.7	39.0	44.3	46.6	31.2	34.9	
無回答	31	44.7	40.5	29.6	13.8	23.4	12.4	20.4	23.4	29.1	19.1	
合計	2474	51.6	43.5	41.9	32.9	32.3	31.8	31.8	31.4	30.1	27.4	

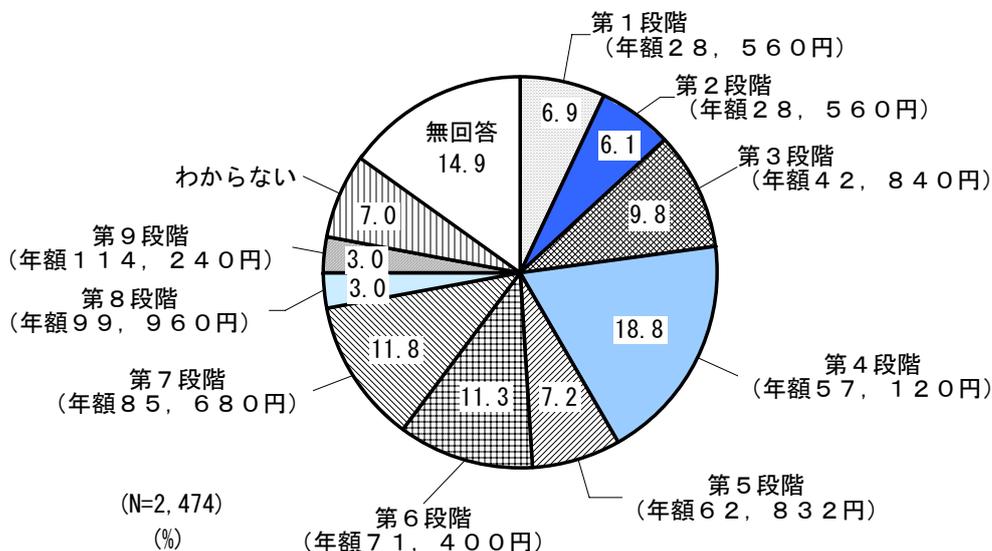
	地域での見回りなど、防犯対策がしつかりしていること	隣近所の人が行う声かけや見守りを行うこと	狙われること	悪徳商法など高齢者を狙うこと	外出時に介助してくれる人があること	住宅を改修するための支援を受けられること	日中の活動や交流できる場があること	家族負担が軽減されること	契約や財産管理の手続きを手伝ってもらえること	その他	特になし	無回答
男性 (全体)	22.7	20.2	21.5	20.2	16.3	11.7	10.4	5.8	2.1	8.5	9.9	
男性 ひとり暮らし	19.7	18.1	23.3	18.5	9.3	9.3	22.7	7.3	4.8	3.7	10.7	
夫婦のみ	23.4	19.5	21.6	19.9	16.6	12.0	9.7	5.4	2.3	7.6	8.6	
兄弟姉妹のみ	27.2	19.8	47.0	19.8	19.8	-	19.8	19.8	-	-	14.7	
二世帯同居	19.0	19.4	17.0	18.7	16.6	10.9	10.2	3.0	0.8	10.7	12.0	
三世帯同居	24.6	23.3	21.7	22.2	19.1	14.0	4.7	9.7	3.0	11.3	6.7	
その他	42.2	38.4	45.1	44.3	25.4	24.6	8.8	17.5	-	13.8	10.1	
女性 (全体)	26.4	27.4	23.3	23.1	18.8	15.5	12.3	4.5	1.4	5.7	10.5	
女性 ひとり暮らし	25.9	27.4	22.1	20.3	16.8	13.5	14.0	4.8	2.0	5.8	10.7	
夫婦のみ	28.6	32.4	26.4	28.1	20.5	18.6	12.9	5.1	1.8	5.4	9.4	
兄弟姉妹のみ	26.2	11.4	22.5	17.2	26.0	9.4	11.0	10.9	7.3	17.8	10.9	
二世帯同居	25.9	26.6	22.6	22.8	22.2	15.7	12.5	4.9	0.6	2.4	10.3	
三世帯同居	18.5	16.0	15.4	13.2	9.6	10.1	4.9	-	0.2	8.5	14.3	
その他	42.3	32.5	32.2	36.5	23.2	26.6	17.0	3.8	0.7	4.5	7.0	
無回答	28.2	24.9	12.8	4.7	10.9	9.3	10.6	6.0	1.7	16.4	9.7	
合計	24.7	24.1	22.3	21.5	17.6	13.7	11.4	5.1	1.7	7.1	10.2	

在宅生活を続けていく上で必要な支援について性別にみると、「隣近所の人と違い声かけや見守りを行うこと」は男性 (20.2%) より女性 (27.4%) のほうが7.2ポイント高くなっている。性・世帯構成別にみると、「毎日の食事を準備や掃除などの家事を手伝ってもらえること」ではひとり暮らし、夫婦のみ、三世帯同居で女性より男性のほうが割合が高い。「食事を配達し、安否確認をしてもらえること」は男性のひとり暮らしと兄弟姉妹のみで4割台となっており、「夜間や緊急時など、いつでも訪問が受けられるサービスがあること」では男性では二世帯同居で、女性では兄弟姉妹のみで最も低くなっている。

4 介護保険制度について

(1) 第1号被保険者保険料の所得段階区分

図 1-38 第1号被保険者保険料の所得段階区分

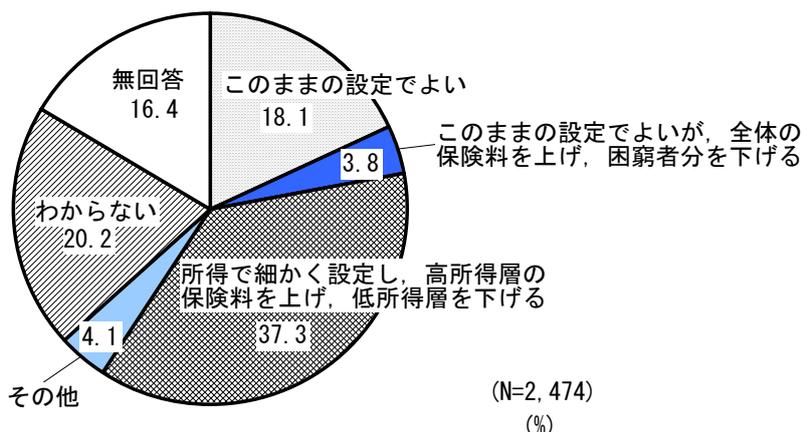


第1号被保険者保険料の所得段階区分は、「第4段階」が18.8%、「第7段階」が11.8%「第3段階」が9.8%と多くなっている。

(2) 保険料の設定および給付・負担のあり方についての意向

ア 介護保険料の設定方法について

図 1-39 介護保険料の設定方法について



第1号被保険者の所得段階区分別保険料の設定方法については、「所得で細かく設定し、高所得層の保険料を上げ、低所得層を下げる」が37.3%と多く、「このままの設定でよい」は18.1%、「このままの設定でよいが、全体の保険料を上げ、困窮者分を下げる」は3.8%となっている。

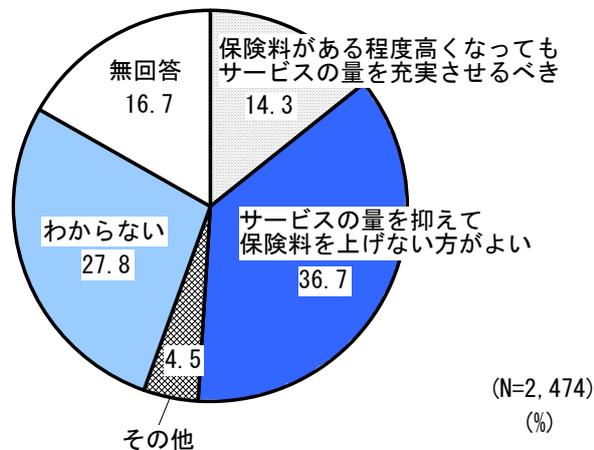
表 1-36 第 1 号被保険者保険料の所得段階区分別 介護保険料の設定方法について

	調査数 (N)	このままの設定でよい	が、このままの設定でよい	低所得層の保険料を下げ、高所得層の保険料を上げ、高所得層で細かく設定し、低所得層を上げる	その他	わからない	無回答
第 1 段階 (年額 28,560 円)	170	21.9	7.5	34.1	1.1	23.4	12.1
第 2 段階 (年額 28,560 円)	152	29.3	3.7	43.4	1.3	18.3	4.0
第 3 段階 (年額 42,840 円)	243	19.6	3.9	48.7	3.2	21.3	3.3
第 4 段階 (年額 57,120 円)	466	18.1	4.2	49.1	2.2	20.4	6.1
第 5 段階 (年額 62,832 円)	178	19.9	1.8	45.5	3.7	23.7	5.4
第 6 段階 (年額 71,400 円)	280	19.7	2.2	49.2	4.8	19.8	4.3
第 7 段階 (年額 85,680 円)	291	23.0	4.4	34.8	11.3	21.0	5.5
第 8 段階 (年額 99,960 円)	74	20.0	7.1	34.5	13.2	17.7	7.6
第 9 段階 (年額 114,240 円)	75	33.6	12.9	18.6	12.7	18.0	4.4
わからない	174	6.6	3.6	28.7	2.9	42.7	15.6
無回答	369	6.9	1.2	11.5	0.5	6.9	73.1
合計	2474	18.1	3.8	37.3	4.1	20.2	16.4

介護保険料の設定方法について第 1 号被保険者保険料の所得段階区分別にみると、第 1 段階～第 8 段階は「所得で細かく設定し、高所得層の保険料を上げ、低所得層を下げる」が 3～4 割台を占め最も多い。これに対し、第 9 段階は「このままの設定でよい」(33.6%) が最も多くなっている。

イ 今後の保険料のあり方について

図 1-40 今後の保険料のあり方について



今後の保険料のあり方としては、「サービスの量を抑えて保険料を上げない方がよい」が 36.7% で最も多く、「保険料がある程度高くなってもサービスの量を充実させるべき」は 14.3% となっている。

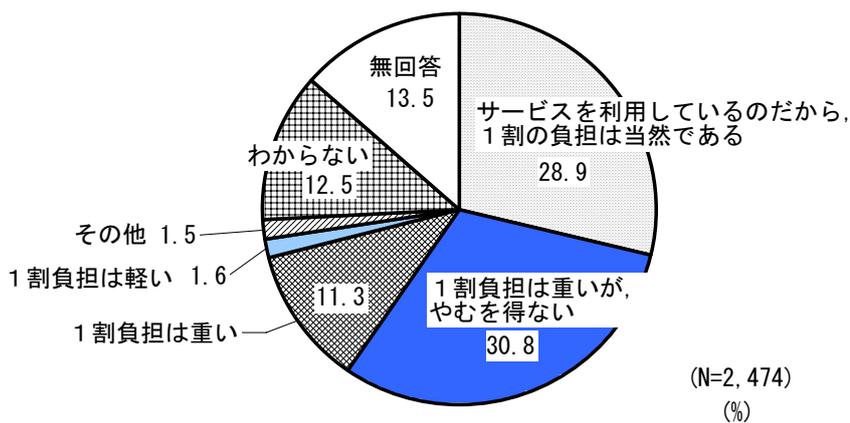
表 1-37 第 1 号被保険者保険料の所得段階区分別 今後の保険料のあり方について

		(%)					
	調査数 (N)	充実させるべき	保険料があがる程度の高量を	サービスの上げの量を抑えてよい保険料を上げない方がよい	その他	わからない	無回答
第 1 段階 (年額 28,560 円)	170	15.3	30.5	2.5	40.0	11.7	
第 2 段階 (年額 28,560 円)	152	16.4	39.8	2.2	34.3	7.3	
第 3 段階 (年額 42,840 円)	243	13.1	46.8	3.6	33.5	3.1	
第 4 段階 (年額 57,120 円)	466	13.1	43.8	3.9	31.9	7.4	
第 5 段階 (年額 62,832 円)	178	16.5	45.7	3.8	27.4	6.6	
第 6 段階 (年額 71,400 円)	280	25.6	42.2	4.7	23.2	4.3	
第 7 段階 (年額 85,680 円)	291	17.6	44.8	9.3	24.0	4.3	
第 8 段階 (年額 99,960 円)	74	17.1	45.3	9.3	17.5	10.8	
第 9 段階 (年額 114,240 円)	75	24.7	34.6	13.7	24.6	2.5	
わからない	174	6.9	21.7	6.1	52.5	12.9	
無回答	369	3.9	13.7	0.8	8.3	73.2	
合計	2474	14.3	36.7	4.5	27.8	16.7	

今後の保険料のあり方について、第 1 号被保険者保険料の所得段階区分別にみると、いずれの段階も「サービスの量を抑えて保険料を上げない方がよい」が最も多く、第 3 段階～第 8 段階では 4 割台となっている。

ウ 利用者負担について

図 1-41 利用者負担について



介護サービス利用料の 1 割負担については、「1 割負担は重い、やむを得ない」が 30.8% と最も多く、「サービスを利用しているのだから、1 割の負担は当然である」も 28.9% と多くなっている。

表 1-38 第 1 号被保険者保険料の所得段階区分別 利用者負担について

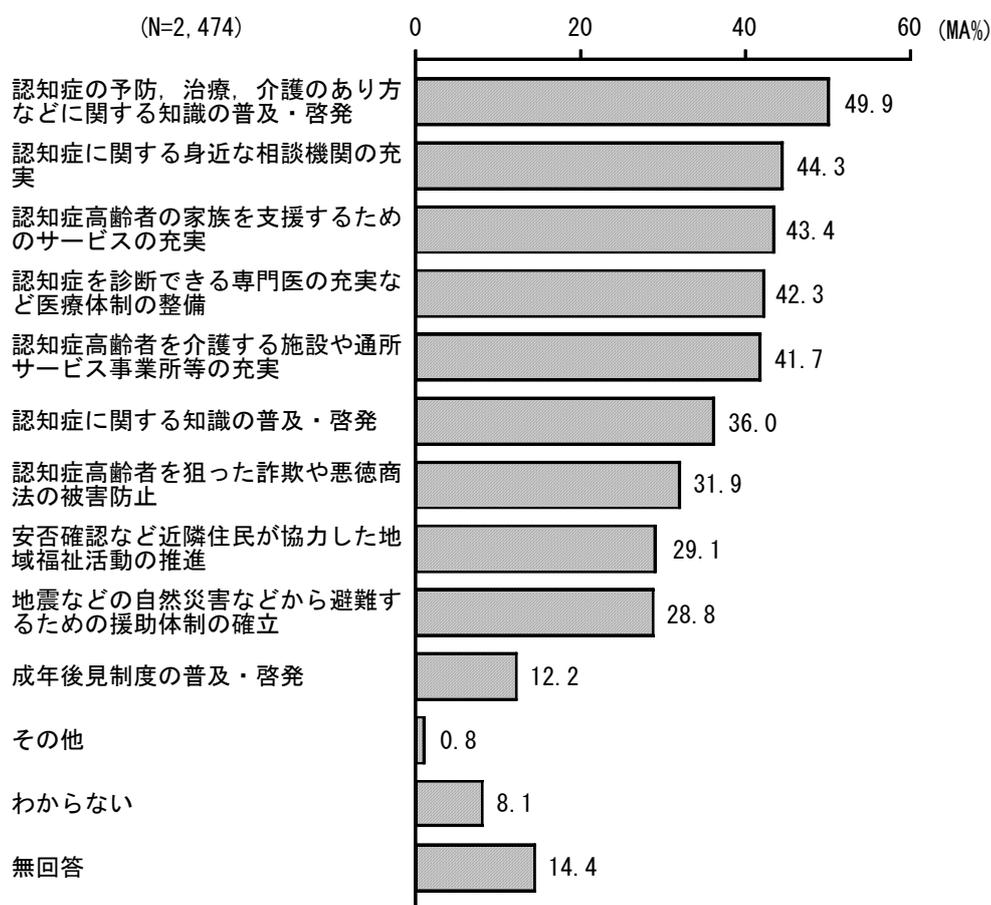
(%)

	調査数 (N)	負担は当然である	サービスの利用して負い	1割負担は重い	1割負担は軽い	その他	わからない	無回答
第1段階 (年額28,560円)	170	22.6	31.5	11.7	0.6	1.6	19.3	12.6
第2段階 (年額28,560円)	152	32.9	31.7	14.3	0.6	-	11.3	9.2
第3段階 (年額42,840円)	243	26.7	35.5	13.8	0.1	1.2	13.6	9.1
第4段階 (年額57,120円)	466	28.0	34.9	13.2	2.5	0.7	9.8	10.9
第5段階 (年額62,832円)	178	28.0	34.8	16.5	1.3	-	10.0	9.4
第6段階 (年額71,400円)	280	33.2	33.9	6.7	3.7	1.0	10.4	11.1
第7段階 (年額85,680円)	291	34.3	32.6	12.4	0.8	1.9	8.8	9.2
第8段階 (年額99,960円)	74	30.9	37.7	8.5	1.2	7.9	9.0	4.7
第9段階 (年額114,240円)	75	49.2	17.9	0.7	2.2	10.1	12.9	7.0
わからない	174	21.7	22.7	11.7	3.3	3.1	30.3	7.2
無回答	369	24.4	21.1	8.4	0.8	0.1	10.2	35.1
合計	2474	28.9	30.8	11.3	1.6	1.5	12.5	13.5

介護サービス利用料の1割負担について所得段階区分別にみると、「サービスを利用しているのだから、1割の負担は当然である」は第6段階以上で30%を超えており、第9段階が49.2%と最も高くなっている。「1割負担は重い、やむを得ない」は第1～8段階で3割台となっており、第8段階(37.7%)で最も高くなっている。

(3) 認知症高齢者対策で必要なこと

図 1-42 認知症高齢者対策で必要なこと



今後、必要だと思う認知症高齢者対策としては、「認知症の予防、治療、介護のあり方などに関する知識の普及・啓発」が49.9%で最も多く、次いで「認知症に関する身近な相談機関の充実」が44.3%、「認知症高齢者の家族を支援するためのサービスの充実」が43.4%、「認知症を診断できる専門医の充実など医療体制の整備」が42.3%、「認知症高齢者を介護する施設や通所サービス事業所等の充実」が41.7%となっている。

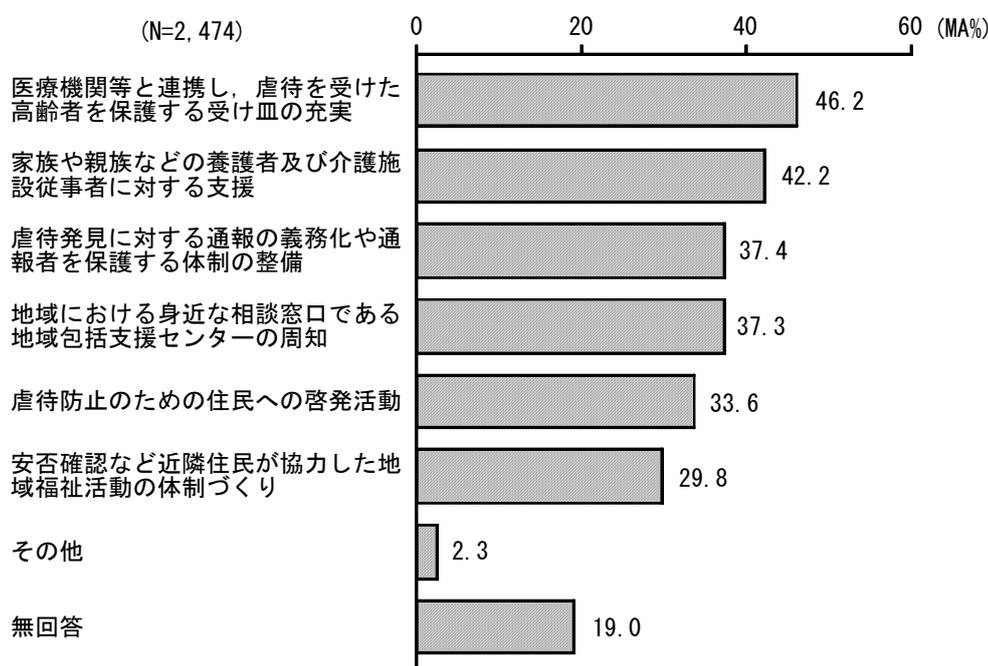
表 1-39 認知症高齢者対策で必要なこと〔若年者調査との比較〕

調査数 (N)	(MA%)													
	認知症の予防、治療、介護のあり方などに関する知識の普及・啓発	認知症に関する身近な相談機関の充実	認知症高齢者の家族を支援するためのサービスの充実	認知症を診断できる専門医の充実など医療体制の整備	認知症高齢者を介護する施設や通所サービス事業所等の充実	認知症に関する知識の普及・啓発	詐欺や悪徳商法の被害防止	認知症高齢者を狙った詐欺や悪徳商法の被害防止	安否確認など近隣住民が協力した地域福祉活動の推進	地震などの自然災害などから避難するための援助体制の確立	成年後見制度の普及・啓発	その他	わからない	無回答
高齢者一般調査	2474	49.9	44.3	43.4	42.3	41.7	36.0	31.9	29.1	28.8	12.2	0.8	8.1	14.4
若年者調査	1392	64.2	55.7	65.3	48.0	57.4	48.1	34.3	30.3	29.6	16.6	1.5	5.8	3.0

今後、必要だと思う認知症高齢者対策について、若年者調査と比較するといずれの項目についても若年者より低く、なかでも「認知症高齢者の家族を支援するためのサービスの充実」は若年者より21.9ポイント低くなっている。

(4) 高齢者虐待防止に関する重要な取組

図 1-43 高齢者虐待防止に関する重要な取組



高齢者虐待防止に関する重要な取組については、「医療機関等と連携し、虐待を受けた高齢者を保護する受け皿の充実」が46.2%で最も多く、次いで「家族や親族などの養護者及び介護施設従事者に対する支援」が42.2%、「虐待発見に対する通報の義務化や通報者を保護する体制の整備」が37.4%、「地域における身近な相談窓口である地域包括支援センターの周知」が37.3%となっている。

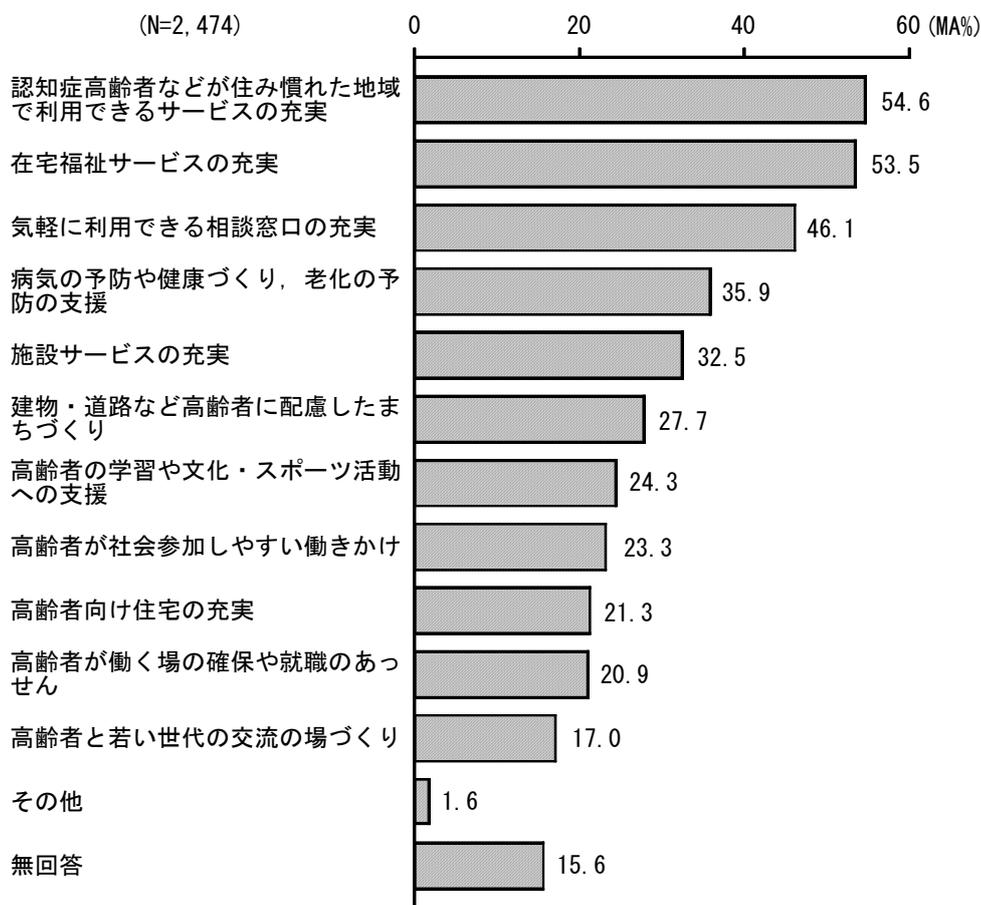
表 1-40 高齢者虐待防止に関する重要な取組〔若年者調査との比較〕

	調査数 (N)	す待医 るを療 受受機 皿た等 の充 実 をし、 保 護	す及家 援護親 施族な 設ど 事者養 に護 対者	る義 体務 制化 のや 整通 備報 者 を 保 護 す	セ窓地 ン口域 タでに ！あお のるけ 周地 知域 包近 括な 支相 援談	の虐 啓待 防 活止 動の た め の 住 民 へ	体協 制力 づし くた り地 域ど 福近 祉隣 活住 動民 のが	そ の 他	無 回 答
高齢者一般調査	2474	46.2	42.2	37.4	37.3	33.6	29.8	2.3	19.0
若年者調査	1392	56.2	60.7	48.2	38.2	31.9	30.4	2.6	5.6

高齢者虐待防止に関する重要な取組について若年者調査と比較すると、「虐待防止のための住民への啓発活動」は若年者より高いが、それ以外は若年者のほうが高い割合となっており、なかでも「家族や親族などの養護者及び介護施設従事者に対する支援」は18.5ポイント低くなっている。

(5) 高齢者保健福祉について充実を希望する施策

図 1-44 高齢者保健福祉について充実を希望する施策



高齢者保健福祉について今後充実を望む施策としては、「認知症高齢者などが住み慣れた地域で利用できるサービスの充実」が54.6%で最も多く、次いで「在宅福祉サービスの充実」(53.5%)、「気軽に利用できる相談窓口の充実」(46.1%)、「病気の予防や健康づくり, 老化の防止の支援」(35.9%)、「施設サービスの充実」(32.5%)となっている。

表 1-41 高齢者保健福祉について充実を希望する施策〔若年者調査との比較〕

	調査数 (N)	認知症高齢者などが住み慣れた地域で利用できるサービスの充実	在宅福祉サービスの充実	気軽に利用できる相談窓口の充実	病気の予防や健康づくりの支援	施設サービスの充実	建物・道路など高齢者に配慮したまちづくり	高齢者の学習や文化・スポーツ活動への支援	高齢者が社会参加しやすい働きかけ	高齢者向け住宅の充実	高齢者が働く場の確保	高齢者と若い世代の交流の場づくり	その他	無回答
高齢者一般調査	2474	54.6	53.5	46.1	35.9	32.5	27.7	24.3	23.3	21.3	20.9	17.0	1.6	15.6
若年者調査	1392	66.3	61.1	54.2	37.9	45.6	32.8	30.4	35.1	34.5	43.2	20.6	1.2	3.6

高齢者保健福祉について今後充実を望む施策について若年者調査と比較すると、いずれの項目も若年者より低く、なかでも「高齢者が働く場の確保や就職のあっせん」は22.3ポイント低くなっている。

5 自由意見

自由意見欄には、470人（記入率18.4%）から延べ585件の回答があった。回答内容の分類と件数は以下のとおりである。

1 介護保険料の負担	80
介護保険料が高い，介護保険料を安くしてほしい（区分の見直し，減免，天引き反対等）	66
介護サービスを利用していない人の介護保険料負担を軽くしてほしい（払い戻し，減免等）	7
介護保険料を負担することは当然である，やむを得ない	1
その他，介護保険料負担に関する意見	6
2 サービス利用料の負担	10
サービス利用料の自己負担が低所得者の負担にならないようにしてほしい（無料利用，減免等）	6
サービス利用料を上げて，安易な利用を減らすべきである	2
サービス利用料は，個人の資産に応じて負担額を決定するべきである	2
3 介護保険制度全般	181
介護保険制度を利用したことがない，よく分からない，実感がない等	29
介護予防や高齢者の自立に力を入れてほしい	28
公正な制度にしてほしい（事業者や利用者間で不正・不平等がないよう調査・監視する等）	26
無駄や負担の少ない制度にしてほしい（財源の確保，税を重点的に配分する等）	19
制度の仕組みや利用方法，サービス内容，収支に関して等，情報提供を充実してほしい	19
家族介護をサポートしてほしい（精神面のケアや経済面等）	11
利用しやすい制度にしてほしい（実態に即した柔軟な対応，必要な時すぐに使える等）	9
介護保険に満足している（現状維持等），今後期待している	6
相談窓口を充実させてほしい	6
老老介護のサポートをしてほしい	4
介護保険には不満がある，反対，廃止してほしい	4
独居老人をサポートしてほしい	4
ケアマネジャーの質の向上を図ってほしい	1
ケアマネジャーの書類作成費が高い	1
その他，介護保険制度全般に関する意見	14
4 要介護認定	5
要介護認定は公正に行ってほしい	3
要介護認定に時間がかかりすぎる	2

5 在宅サービスの充実	6
在宅サービスに関わる人材の育成・質の向上を図ってほしい（ヘルパー等）	3
デイサービスやショートステイ等，在宅サービスを充実させてほしい	3
6 施設サービスの充実	46
介護保健施設，病院を増やしてほしい（特別養護老人ホーム，老人保健施設等）	11
低料金で入所できる施設を整備してほしい	8
施設の入所待ちの状況を改善してほしい（必要な時即入居出来るようにしてほしい等）	7
施設職員の待遇改善を図ってほしい	3
認知症ケアの施設を増やしてほしい	3
その他，施設サービスの充実に関する意見	14
7 高齢者保健福祉施策について	56
医療，医療費について	16
高齢者保健福祉施策の内容を知らない，情報提供してほしい	10
後期高齢者医療制度に反対である	10
高齢者保険福祉施策の充実を図ってほしい	10
その他，高齢者保健福祉施策に関する意見	10
8 市行政について	50
民生委員，老人福祉員について	9
国民年金について	9
国民健康保険について	4
その他，市行政に関する意見	28
9 アンケートについて	40
設問内容に問題がある（設問数が多い，内容が難しく理解出来ない等）	17
実施時期を考えてほしい	6
有効に活用してほしい	5
その他，アンケートに関する意見	12
10 その他の意見	111
将来に不安がある，安心して老後を過ごせるようにしてほしい	32
自身の健康に配慮している	29
高齢者の体力づくり，交流の場がほしい	11
高齢者の働く場がほしい	6
高齢者が外出しやすいよう，歩道や交通の整備をしてほしい	6
その他	27